

令和2年度第1回袖ヶ浦市立図書館協議会次第

令和2年7月15日（水）

午後2時から4時まで

長浦おかのうえ図書館 3階 大会議室

次第

1 開 会

2 あいさつ

(1) 委員長あいさつ

(2) 教育長あいさつ

3 議題

(1) 令和元年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について

(2) 袖ヶ浦市第3次図書館サービス網計画（後期計画）の成果と課題について

(3) その他

4 報告

(1) 令和2年度袖ヶ浦市立図書館経営方針及び重点施策について

(2) 袖ヶ浦市第4次図書館サービス網計画の策定について

(3) コロナウイルス感染拡大防止に係る休館及びサービスの一部制限等について

(4) 令和2年度図書館利用者アンケートについて

(5) その他

5 閉 会

第 1 7 期袖ヶ浦市立図書館協議会委員名簿

氏 名	選出区分	備 考
たけうち きみこ 武内 喜美子	学識経験 元千葉県立中央図書館副館長	4 期目 委員長
きたはら まきし 北原 政志	学校教育 平岡小学校校長	1 期目
やまだ まい 山田 真衣	学校教育 袖ヶ浦高等学校実習助手	1 期目
しらい ゆみこ 白井 由美子	学校教育 蔵波小学校学校司書	1 期目
やりた のりこ 鎗田 典子	社会教育 おはなし会ボランティア	3 期目
おおの としえ 大野 俊江	社会教育 公民館運営審議会委員	3 期目
つむら ちづこ 津村 千鶴子	家庭教育 子どもるーぷ袖ヶ浦会員	1 期目
たかはし かずこ 高橋 和子	家庭教育 ファミリーサポートセンター提供会員、家庭教師	2 期目
みつたけ けんいちろう 光武 賢一郎	学識経験 郷土博物館市民学芸員	3 期目
よしむら まりこ 吉村 真理子	学識経験 千葉敬愛短期大学副学長	1 期目

任 期 平成 3 0 年 1 2 月 1 日から令和 2 年 1 1 月 3 0 日まで

令和2年度第1回袖ヶ浦市立図書館協議会

1 開催日時 令和2年7月15日（水）午後2時開会

2 開催場所 長浦おかのうえ図書館 3階 大会議室

3 出席委員

委員長	武内 喜美子	副委員長	北原 政志
委員	白井 由美子	委員	山田 真衣
委員	鎗田 典子	委員	大野 俊江
委員	津村 千鶴子	委員	高橋 和子
委員	光武 賢一郎		

(欠席委員) 吉村 真理子 委員

3分の2以上の委員が出席であり、図書館協議会運営規則により本協議会は成立とする。

4 出席職員

教育長	御園 朋夫	生涯学習課長	生方 和義
中央図書館長	嶋田 育子	平川図書館長	加藤 寿起
長浦おかのうえ 図書館長	藤尾 善之	中央図書館 庶務班長	今坂 公一
中央図書館 奉仕班長	小倉 かおり	中央図書館 主査	上村 千恵

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	3人
傍聴人数	0人

6 議 題

- (1) 令和元年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について
- (2) 袖ヶ浦市第3次図書館サービス網計画（後期計画）の成果と課題について

(3) その他

7 議 事

議題（1）令和元年度袖ヶ浦市立図書館サービス点検・評価について

武内委員長： ではまず議題（1）令和元年度袖ヶ浦市立図書館サービス点検・評価について、事務局から説明をお願いします。

（事務局（藤尾館長）より議題（1）について説明）

武内委員長： 事務局から説明がございましたとおり、今回からは協議会としてA～C等で評価はしないということになります。ご意見、ご要望がありましたらお願いします。

高橋委員： サービス内容1の課題に「10年未利用者の除籍者数」について記載があり、10年間利用せずに除籍になった人が多いことがわかります。別綴じ参考資料の15ページの年齢別の区分を見ると15歳までの中学生は利用が多く、その後の利用はあまりないように思われます。15歳を過ぎて読書離れが始まって、10年利用せずに25歳前後となりますが、その時期に登録率が減っています。このことから中学生までは本を読むために登録しているがその後継続していかないの、時期が来ると減るのではないかと考えました。中学卒業以降も図書館を活用してもらうことを考えると、中学生の時期に図書館の利用方法、本を借りる以外の利用など、メールマガジンやホームページ等を活用したお知らせ、アピールをしていくと図書館離れが少しでも減るのではないかと思います。

武内委員長： 10年未利用者を除籍することについては、達成率に影響があり、評価が下がってしまうと以前も意見が上がったと思います。除籍の方法、発表の方法について見直しの検討も必要ではないでしょうか。今回は特にブックスタート会場での登録等も始まり新規登録者が増えたのに、結果としては減ってしまっています。先ほどの意見のように学生時代に利用はあるが、その後忙しくなって利用しなくなるということは実際にあると思うので、積極的にアピールしていくことについては課題として努力して頂きたいと思います。

事務局（藤尾館長）： 昨年度の図書館協議会で、登録率の高い自治体にどういった取り組みをしているのか聞いてみてはとのご意見を頂きましたので、当市より登録率の高い自治体に話を伺ってみました。定期的に未利用者を除籍している自治体は限られており、県内の図書館が同じように登録、除籍をして

いないため、単純に比較ができないことが分かりました。新規登録にかかる目立った取り組みとして、山武市では学校図書館と連携して共通の利用券を利用しているため、小学校に入学するとほぼ全ての子どもが市立図書館の利用登録をすることとなるそうです。登録率については他の自治体との比較ではなく、市内での推移をみて評価したいと考えています。その中で高橋委員からご意見頂きましたように年代別登録率の中で20代後半からの登録率が下がっており、10年未利用で除籍することを考えますと10代後半からの利用が減っているというのはご指摘のとおりだと考えます。このことについては図書館のこれからの課題とし、積極的に取り組んでいく必要があります。

光武委員： 資料4ページの内部評価の2点めに新規登録者が1,227人、除籍者数が1,531人とあり、この差が304人となります。ブックスタートパックの配布が413人で、配布時の利用登録が開始から5か月間で97人とすると配布した人のうち半分しか登録していないこととなりますが、413人全員が登録していたら新規登録率が下がることはなかったと思いますので、もう少し配布者の登録率を増やすことができれば、評価が下がることはないのではないでしょうか。ブックスタートの配布率は開始した平成27年度から少しずつではあるが下がってきています。配布率の低下が気になる場所ですが、対象者はだいたい500人位いると伺っていますので、対象児全てと保護者の登録につなげることができるのであれば20代後半の登録率も回復するのではないかと考えました。新規登録者を増やすための積極的な働きかけとありますが、0歳児にむけての働きかけに関する記載がどこにもありませんので、ここに関して評価しても良いのではないのでしょうか。

武内委員長： 0歳から図書館に親しんで頂ければと思います。

津村委員： ブックスタートについて図書館から説明をお願いします。

事務局（嶋田館長）：ブックスタート会場での新規登録は、市民の声で「ブックスタート会場での新規登録は効果的では」との意見を頂いたことがきっかけで始めました。今のスタンスとしては「希望があれば登録できます」というところですが、今後は光武委員がおっしゃったように積極的なアピールをして登録につなげていくことができればと思っております。

津村委員： ブックスタートボランティアをしておりますが、既に登録している方もいらっしゃいます。登録を始めたのも昨年の秋ごろからで人で不足もあり手探りの状態ということもありましたが、配布時には積極的に説明をしてきました。今は児童のみを対象としておりますが、お話を伺って保護者の方の登録も一緒にできたらいいかもしれないと思いました。ボランティアや図書館職

員の負担は大きくなりますが、利用券を持っているのと持っていないのでは図書館に行こうという気持ちが大きく変わってくると思うので、保護者に関する働きかけについて検討して頂ければと思います。

また、ブックスタートにおける本の配布率が82.1%で評価が3となっていますが、4か月児教室に参加している人には全員に配布をしています。残りの17.9%は教室に来ていない人となるため、それがわかるような資料、評価にして頂ければと思います。

北原副委員長： 資料の8、9ページにホームページのリニューアルにより、機能、利便性が向上したとあります。今はネットで読みたい本を探して、ネットで予約して、Suicaやおサイフケータイで貸出ができるという時代であり、時代に即した流れであると感じました。うちで子どもを見ているスマートフォンで最近の本の売れ筋や興味のある本を探して、予約をしたりしています。こういった取り組みにより若い人達にとっても図書館が身近なものになっていくと思います。図書館ではこのように利便性が向上していますが、学校では学校カードを持って図書館に行かないと本が借りられない状況です。こちらでもネット等で予約できたり、近くの図書館で借りたりできるのは有難いと思います。

資料内に新しいWebOPACの操作方法とありますが、どういったものか簡単にご説明頂けますか。

事務局（藤尾館長）： OPACというのは図書館にある図書の検索用端末機、インターネット上にある検索サイトがWebOPACとなります。図書館のホームページ上で本の検索や予約をして頂けるようになっています。操作方法やレイアウト等が変わってわかりにくいという意見がでており、慣れて頂くためには周知不足の面もありますので、今後も周知、紹介していきたいと考えております。

武内委員長： 資料作りの際、一般的にわかりにくい用語、専門用語についてはわかりやすく記載するようお願いいたします。

事務局（藤尾館長）： 今後注釈を加える等、わかりやすく表記します。

武内委員長： 若い人たちに向けた働きかけ等参考にして頂ければと思います。

光武委員： 高齢者サービス充実について数値が下がっていますが、コロナによる休館に起因したものでしょうか。高齢者人口が増えているのに、数値が下がっていますので何か理由がありましたらお伺いします。

事務局（嶋田館長）： 大活字本の貸出冊数については、新刊本の発行点数によってかなり左右されます。新刊が多数発行された年には利用も多く、新しい本については積極的に借りて頂いておりますが、近年大活字本の発行点数は減っており、その影響があるかと思えます。また利用者の話を伺うと、分厚くて重いことや1冊を5分冊位にしているものが多く、持ち帰るのも大変という意見もありました。高齢者サービスについては大活字本の貸出冊数と補助的に朗読CDの貸出点数との2つの指標しかありませんが、他の方面からもサービスを展開していけるよう検討したいと考えております。

武内委員長： 市でタクシー券のサービスを実施していると思いますが、そういった制度も利用し、図書館へも足を運んでもらえると良いと思います。図書館までの足がないということは大変な課題だと感じました。

事務局（藤尾館長）： 正確な推移についてはデータとして手元にありませんが、高齢者への文庫本の貸出は増えております。2年前に中央図書館でも文庫の棚を追加しました。高齢者向けに最初から文庫本で出版される時代小説が非常に多く、リクエストも多くなっています。出版点数も貸し出しも多いことから図書館でも積極的に購入するようにしております。大活字本は重たい、嵩張るという話でしたが一方ではハンディな文庫本は出版も貸し出しも増えているという状況がございます。

武内委員長： 文庫本については資料に記載がありませんので、増えているという状況があるようでしたら、数値等わかるようにして頂ければと思います。

大野委員： 5ページに中央図書館での学習まんがの購入やすぐ借りて帰れる絵本セットの提供の取り組みについて、まんがセットの貸出状況とすぐ借りて帰れる絵本セットがどういったものなのかお伺いします。

事務局（小倉班長）： すぐ借りて帰れる絵本セットですが、図書館の児童コーナーに設置しております、用意するとすぐに貸出となり常に補充をしている状況です。学習まんがですが「日本の歴史」を購入しまして、こちらも利用はかなり多く、WEB予約も多く入っております。

大野委員： 全館で1セットということですが、十分にまわっているのでしょうか。

事務局（小倉班長）： 中央図書館と長浦おかのうえ図書館で1セットずつ、2セットございます。

事務局（嶋田館長）： 昨年度中央で1セット購入し、今年度長浦に寄贈があり1セット所蔵しております。絵本セットにつきましては、対象年齢別ごとにセットを組んでおりまして、絵本を選ぶのに悩まれたときなど、図書館としてお薦めできる本を入れております。

大野委員： 子どもにあった本を選ぶのは結構大変なことです。そういったセットがあるのはとても良いことだと思いました。

津村委員： 4ページに旅行ガイドの移管や書庫への編入について記載がありますが、古くなった旅行ガイドは保管しておく必要があるのでしょうか。

事務局（藤尾館長）： 図書館では除籍基準を設けておりまして、基本的に受け入れしてから5年経過したもので内容の古くなったものや複本購入したもののうちの1冊を除籍しております。旅行ガイドや法律の本など改訂版がでるものについては除籍基準を3年としております。1年経過のものを他館で再利用、次版がでたら書庫に引き上げる、3年を経過した以降のものは学校での修学旅行の際に生徒に利用してもらっています。

津村委員： 情報が古いものは学校でも必要ないのではないのでしょうか。

事務局（藤尾館長）： 修学旅行で訪れるような旧所名跡については、情報が大きく変わることもないため、学校への団体貸出用として利用しております。修学旅行で利用のないような地域については、2年に1度開催している本・雑誌・リユースデーに提供して、市民の方に再利用頂いております。

武内委員長： 高齢者サービスは以前からの課題ですが、ご意見等ございますでしょうか。

大野委員： せっかく大活字本の所蔵があるのに、重くて使いにくいという事で勿体ないと思いました。

高橋委員： 新刊は貸出が多いとの事でしたが、大活字本はあまり新しいものは出版されないようです。

津村委員： 移動図書館はないのでしょうか。車も交通機関も利用できない高齢者は図書館に行きたくても行けないということもあると思います。

武内委員長： 見直しということではないですが、移動図書館の設置については改めて検討していただく余地はあるのではないのでしょうか。

津村委員： 高齢者の集まりなどに公民館等と連携して移動図書館を運営するのも良いと思います。高齢者の利用が増えないことが課題であれば、移動図書館は効果的であると考えます。

鎗田委員： 障がい者の宅配サービスを実施されていますが、こちらの対象者に車がないと図書館に来られない高齢者等は含まれるのでしょうか。

事務局（藤尾館長）： 一時的な怪我などで図書館へ来られない方に宅配するケースもありますが、原則として障害者手帳を所持していること等の基準があります。今のご意見について検討は必要だと思いますが、今行っている宅配サービスを高齢者の方にも実施することについては対象者が多く、対応は難しいと思われま。以前にも図書館協議会で宅配ボランティアについてご意見頂き検討したことがありますが、事故が起きた際の対応や保障等、クリアしなければいけない課題も多く、現時点では宅配サービスの対象は障がい者の方のみで運用しています。現状では職員が直接宅配しており、このやり方のまま高齢者に対象を拡大するのは難しいと思いますので、別の方法について引き続き検討していきます。

武内委員長： 毎回意見があがっていると思いますので、引き続き検討を行ってください。それでは意見、要望等について取りまとめをして頂ければと思います。

武内委員長： それでは議題2の袖ヶ浦市第3次サービス網計画（後期計画）の成果と課題について、事務局から説明をお願いします。

（事務局（藤尾館長）より議題（2）について説明）

武内委員長： 先ほどと重複する部分もありますが、意見、要望をお伺いします。

高橋委員： 18ページの⑤の国際化への対応についてですが、以前中央図書館を利用させていただいたときに、同じ絵本の日本語のものと外国語のものが別々の場所に置いてありました。日本語の本に対して同じタイトルの外国語の本があるのか、またあるとしたらどこに置いてあるのか、外国語の本に対して日本語の本があるのか、どこにあるのかわからないし、探すのにとっても時間がかかりました。対応している本をセットにして置いてある方がわかりやすいと思います。

事務局（嶋田館長）： 図書館の排架方法、配列方法に関わってきてしまいますが、日本語訳の本があるものもありますし、逆に外国語訳の本があるものもあります、一概にセットで排架するのは難しい面もありますが、リストでの対応は可能です。おすすめの外国語絵本なども既にリストとして作成しています。本市では外国語の絵本の所蔵が多く、全てを網羅して作成することは難しいため、著名な本、おすすめの本に限らせて頂ければリスト化は可能だと思われます。ただし、セットで排架すると排架場所も大きな移動が必要となってくるため、検討が必要となります。

津村委員： おすすめ絵本のコーナーがあると思いますが、そこに何冊かセットで排架するのも一緒に手にとってもらえると思うので、全てでなくてもいいと思います。

事務局（小倉班長）： 児童室の平置きのコナーに、一部ですが日本語の絵本と外国語の絵本を並べ、表紙をみせ排架しております。

津村委員： 19ページに出張おはなし会の実施について記載がありますが、これは子育て支援やこども館でも実施しているのでしょうか。

事務局（小倉班長）： こども館ではコロナの前も実施しておりましたし、本日も行っております。

津村委員： 子育て支援センターのぱるやすまいるらんどでは実施していますか。

事務局（小倉班長）： すまいるらんどでは実施しておりません。年度初めに各施設等へおはなし会の案内を送付しており、依頼をいただいたところへは職員かボランティアが伺って読み聞かせを行っております。子育て支援センターぱるへは何度か伺っておりますが、今年度はコロナの件もありまだ実施ができておりません。

北原副委員長： 出張おはなし会について話がありました。子どもたちも楽しみにしており、とても良い時間だと思っております。今年度はコロナの関係で学校としてはまだ許可が出せず、対面での読み聞かせ等は全然できていない状況です。図書館のおはなし会等について方向性、どのように考えているかをお伺いします。

事務局（嶋田館長）： 後ほどご報告いたしますが、今現在図書館の主催事業は全て中止しております、8月末までは人を集めて何かを行うような事業は

中止としております。9月以降感染拡大状況をみまして収束を辿るようでしたら、予約制で参加人数を減らして開催という事で考えております。小中学校から依頼をいただくおはなし会については、話し手がマスク、透明マスク、フェイスシールド等を着用して安全に素話が行えるかを検討してまいりました。9月以降は蔵波小学校からも朝読書の依頼をいただいております、今までとは違いますが各自自席に座り、離れた状態で行うということで方法を考えております。この事業につきましては大切な事業と考えておりますので、引き続き継続していきたいと思っております。

大野委員： 同様の意見ですが、出張おはなし会は積極的な働きかけにより平成30年度以降の参加者が大幅に増加している中で、コロナの件で参加数が大きく減らないよう、継続していければと思います。中学生の孫がおりますが素話に興味をもっているようです。中学生になるとなかなか読み聞かせをしてもらう機会がなくなってくるため、とても貴重な体験だと思っております。

武内委員長： 他にご質問、ご要望はございますか。

白井委員： 資料の方には記載はございませんが、中央図書館のヤングアダルトのコーナーが奥の方にあることについて、奥の暗い場所で若い子たちの足がなかなか向かないのではないかと思います。場所的に新しいコーナーを作るのは難しいとは思いますが、もう少し明るい感じの場所の確保ができないでしょうか。近くには袖ヶ浦高校もございますので、若い人たちを引き付けるような工夫ができるといいと思います。

武内委員長： 他にはございますか。

事務局（嶋田館長）： ヤングアダルトコーナーについては、閲覧室の近くということで閲覧室での勉強の合間に利用してくれるのではということで今の場所に設置をしました。中高生の利用は確かに減ってきており、ご意見のとおり明るい場所に移動させるようなことも検討していく必要があります。館内の配置、資料につきましても次期サービス網計画の中でまたご意見を頂ければと思っております。

武内委員長： 他にはよろしいでしょうか。また意見の確認という事で書面が回付されると思いますので、今日でなかった意見でも何かありましたらご提示ください。それでは議題2について終了とさせていただきます。

事務局（藤尾館長）： 議題については本日の内容を皆さんに確認して頂きます。その際、追加の意見等ございましたらお願いします。

8. 報告事項

- (1) 令和2年度袖ヶ浦市立図書館経営方針及び重点施策について
- (2) 袖ヶ浦市第4次図書館サービス網計画の策定について
- (3) コロナウイルス感染拡大防止に係る休館及びサービスの一部制限等について
- (4) 令和2年度図書館利用者アンケートについて
- (5) その他

9 閉会のことば

午後4時10分閉会

議題（１）令和元年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について

袖ヶ浦市立図書館は、平成23年3月に策定した「袖ヶ浦市第3次図書館サービス網計画」に基づき、様々な事業を推進しています。

第3次図書館サービス網計画は、平成23年度を初年度として令和2年度を目標年次とする10年間の計画ですが、サービス評価指標については、図書館を取り巻く環境の変化等に柔軟に対応するために、計画期間を前期と後期のそれぞれ5年に分けて設定し、前期5年間の計画は平成27年度を以て終了しました。

平成28年度には、「袖ヶ浦市第3次図書館サービス網計画 後期計画（計画期間：平成28年度～令和2年度）」を策定し、数値目標の一部見直し、新しいサービス評価指標の追加等を行いました。今回は、後期計画4年目の点検・評価となります。

“図書館は、そのサービス水準の向上を図り、図書館の目的及び社会的使命を達成するため「数値目標」を設定し、各年度の図書館サービスの状況について、図書館協議会の協力を得つつ、「数値目標」の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うとともに、その結果を市民に公表するように努めます。”

「袖ヶ浦市第3次図書館サービス網計画」より

◎「令和元年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価」

公開までのスケジュール

月	作業内容	進捗
4月	・統計数値等の令和元年度実績を集計する。	○
5月～6月	・図書館としての内部評価を行う。	○
7月15日	・図書館協議会による外部評価を行う。 (令和元年度第1回図書館協議会)	○
7月～8月	・外部評価を取りまとめ、公表するための事務局案を作成する。	○
8月	・事務局案について、図書館協議会委員から改めて意見を求め、必要に応じて修正する。	
9月10日	・図書館協議会委員の了承を得た最終案について、教育部課長会議で報告する。	
9月23日	・教育部課長会議で了承を得た最終案について、教育委員会で報告する。	
9月末	・図書館のホームページを通じて公表する。	

◎評価方法の変更について

これまで袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価では、個々のサービス評価指標について、数値目標に対する達成率を3段階（80%以上：A、60%以上80%未満：B、60%未満：C）で採点し、更にサービス評価指標以外の様々な取組も総合的に考慮して、3つのサービス内容ごとの全体評価を、図書館の内部評価、図書館協議会委員による外部評価という形で、それぞれABCの3段階で評価し、公表してきました。

しかし、サービス内容ごとの全体評価についても客観的な基準に基づいて評価するのが望ましいこと、また、教育委員会の点検・評価では施策の目標値に対する達成率を、より詳細に4段階（100%以上：◎、80%以上100%未満：○、60%以上80%未満：△、60%未満：×）で採点していることを踏まえ、今回の点検・評価から、以下のとおり評価方法を変更しました。

1 評価基準の変更

(旧) 3段階評価

A：計画どおりに実施でき、一定の成果があった。達成率 80%以上
B：課題はあるものの、概ね計画どおり実施できた。達成率 60%以上80%未満
C：不十分な点や課題が多く、計画どおりに実施できなかった。達成率 60%未満

↓

(新) 4段階評価

4：計画どおりに実施でき、一定以上の成果があった。達成率 100%以上
3：計画どおりに実施でき、一定の成果があった。達成率 80%以上
2：課題はあるものの、概ね計画どおり実施できた。達成率 60%以上80%未満
1：不十分な点や課題が多く、計画どおりに実施できなかった。達成率 60%未満

2 全体評価の方法の変更

- ① サービス内容ごとに、サービス評価指標の達成率を合計する。
- ② 合計値をサービス内容の指標数で除した平均値を、そのサービス内容全体の達成率とみなす。
- ③ サービス内容全体の達成率を、「1」で定めた評価基準に基づき、数値の達成率によって4段階で採点し、全体評価とする。
- ④ 全体評価も数値の達成率に基づいて採点することになるため、図書館協議会からの外部評価については、採点は求めず、サービス評価指標以外の取組なども含めた総合的な意見としてまとめ、「図書館協議会からの意見」として公表する。

評価基準	4：計画どおりに実施でき、一定以上の成果があった。達成率 100%以上 3：計画どおりに実施でき、一定の成果があった。達成率 80%以上 2：課題はあるものの、概ね計画どおり実施できた。達成率 60%以上 80%未満。 1：不十分な点や課題が多く、計画通りに実施できなかった。達成率 60%未満。
------	---

(注) ☆は、後期計画（平成28年度～令和2年度）で追加した指標

サービス内容（1）資料及び情報の収集、提供等

令和2年度想定市人口 64,000 人
令和2年4月1日市人口 64,519 人

サービス評価指標	実績(R1)	目標値	達成率	
☆①図書購入タイトル数/購入冊数(%)	85.8	90.0	95.3%	3
☆②蔵書冊数(所蔵図書冊数)	701,931	710,000	98.9%	3
☆③市民一人当たりの蔵書冊数(冊/人)	10.9	11.1	98.2%	3
④袖ヶ浦市関係資料の受入冊数(冊/年)	271	270	100.4%	4
⑤年間利用者数(人/年)	140,856	155,000	90.9%	3
⑥市民新規登録者数(人/年)	1,227	1,200	102.3%	4
⑦市民登録率(%)	41.5	60.0	69.2%	2
⑧資料貸出数(点/年)市外含む総計	527,781	650,000	81.2%	3
⑨市民一人当たりの貸出数(点/人)	8.2	10.2	80.4%	3

◎平均達成率：90.8%【816.8（項目ごとの達成率の合計）÷9（項目数）=90.8】

(後期計画におけるサービス内容)

「袖ヶ浦市立図書館資料収集規程」及び「袖ヶ浦市立図書館資料選定基準」に基づき、資料の整備に努めます。

第3次図書館サービス網計画の中で、資料整備については、「人口1人当たり10冊を基本に640,000冊を目標とします。」とうたっています。現在、蔵書冊数は65万冊を越え、前期の目標値は達成していますが、図書館資料については、最新の情報を提供し書架の新鮮さを保つためには継続的な更新が必要であることから、今後も開架資料の5%の更新を目標として、市民に多種多様な学習要求に応えられるように、幅広いタイトル数を購入するよう努めてまいります。

少子高齢化の急速な進行に伴い、図書館の利用についてはこの5か年で、資料貸出総数、新

規登録者数等については減少傾向にあります。

図書館としては、利用者により資料に関心を持ってもらうための時宜的な資料展示やテーマ展示、また転入者への利用案内の配布、県立袖ヶ浦高校生に利用案内を配布するほか、今後も図書館資料の情報提供を進め、利用の拡大に努めます。

内部評価

○全体評価：3【平均達成率：90.8%】

- ・新刊図書の購入を中心に必要に応じて遡及購入を行ったほか、郷土行政資料を中心に寄贈の依頼も行い、12,446冊の図書（うち購入11,540冊）を受け入れした。一方で、新版の出した旅行ガイド等は旧版を分館へ移管し、情報の古くなった図書は書庫へ編入した。全館の開架書架の図書318,870冊（令和2年3月31日現在）の約3.9%を更新し、重点施策に掲げた開架図書の更新率5%という目標値に対する達成率は78.0%にとどまった。
- ・市民の新規登録者数については、10月からブックスタート会場で対象となる4か月児の新規登録を開始した効果があり、平成24年度以降では最も多い1,227人の新規登録があった。（うちブックスタート会場での新規登録は10月～2月で97名。）一方で、10年間未利用により除籍した市民登録者も、1,531人と前年度（平成30年度1,488人）より増加したため、登録者数は減少した。
- ・台風15号、台風19号被害による臨時休館、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う読書普及事業の中止やサービスの一部制限、臨時休館の影響を受け、年間の利用者数や資料貸出数は前年度を下回った。

○課題

- ・高齢化の急速な進行に対応して、平成29年度以降、長浦おかのうえ図書館には「闘病記コーナー」、中央図書館には「認知症コーナー」を設置したが、認知症予防だけでなく、介護予防や介護支援についてのニーズが高まっていることから、何らかの対応が必要である。
- ・新規登録者は増えているものの、10年間未利用による除籍者数が新規登録者数を上回るため、市民登録率は低下している。年代別で見ると20代から40代の図書館利用が少ないことから、これらの勤労世代に対する積極的な働きかけが必要である。

○今後の対応

- ・市内でも高齢化の進行が著しい地域にある平川図書館に、新たに「介護予防・介護支援コーナー」をつくる。
- ・ビジネスマナーや資料作成、職場トラブル、就職案内の本など、勤労世代の課題解決に役立つ資料を充実させ、特設コーナーでも取り上げ積極的にPRする。

取り組み内容

<新規・一部新規・拡充>

- ・市内のすべての図書館・図書室に設置している乳幼児向け絵本コーナーについて、保健センターや子ども館などの子育て関連施設、駅やスーパーなどの商業施設にポスターを掲示して周知を図ったほか、乳幼児向け絵本コーナーに隣接して、育児関連図書のコーナーを中央、長浦だけでなく全館に設置した。
- ・「市民の声」で出された意見を受け、ブックスタートの会場で対象となる4か月児の図書館利用登録を開始した。また、ブックスタートボランティアからの提案により会場内に育児書を展示したほか、市内のすべての図書館・図書室に令和元年度から設置した「子育て応援コーナー」についてもPRした。
- ・国立がん研究センターが発行する、科学的根拠に基づくがんに関するパンフレットなどを集めた「がんサポートコーナー」を、中央図書館のレファレンス・コーナー横に設置した。
- ・平成30年度に資料選定基準を一部改訂し、学習漫画も児童書の選定対象としたが、内容を慎重に検討し、中央図書館で1セット（集英社版学習まんが「日本の歴史」全20巻）を購入した。
- ・台風第15号の被害以降、市民の関心が高まった災害関係の分野の図書を積極的に収集し、全館で61冊（一般書49冊、児童書12冊）の図書を受け入れした。
- ・3月には、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、臨時休館するまでの間、中央図書館と長浦おかのうえ図書館で、おすすめの絵本をまとめた「すぐ借りて帰れる絵本セット」を提供し、好評だった。

<継続>

- ・地域の高齢化が進行する中で、市民の関心が高く、常に新しい情報が求められる社会福祉と医学関連の図書を重点的に収集した。社会福祉の分野の図書を全館で194冊収集し、同分野の全開架図書2,027冊の約9.57%を更新したほか、医学・薬学の分野の図書を全館で671冊収集し、同分野の全開架図書9,933冊の約6.76%を更新した。
- ・中央図書館を中心に郷土資料の拡充に努め、市内3図書館で612冊の郷土資料（うち袖ヶ浦市関連図書271冊）を収集した。
- ・おすすめ図書のリストを一般向けに2種類「男女共同参画社会関連図書リスト」「新成人に贈る図書館お薦めの20冊」、児童向けのパスファインダー（調べ方案内）「昔のあそび」を調べる」を新たに作成したほか、一般向けのパスファインダー4種類の改訂版（「働く」ということ、妊娠・出産・赤ちゃん、くらしに役立つ「法律情報」、「情報検索」）を作成した。
- ・袖ヶ浦高等学校の生徒全員に、「袖ヶ浦市の図書館をぜひご活用ください!」という利用案内（裏面は青少年向けのお薦め図書リスト「ティーンズ・トショロ」）を配布した。
- ・夏休み中に全館で「宿題おたすけコーナー」を設置し、児童の利用促進を図った。
- ・4～5月の「こどもの読書週間記念行事」、7～8月の「夏のトショロ月間」、10～11月の「秋のトショロ月間」など長期間の大型イベント、そして新年企画として1月には「えほんのふくぶくろ」を全館で行なったほか、中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館では月替わりで時事的な関心の高いテーマの関連図書を「特設コーナー」に集めて紹介するなど、年間を通じて様々な形で市民の読書意欲を喚起する取り組みを行った。

- ・「文芸講座」や各種講座・講演会、定例の映画会、「資料展示」等の主催事業では、会場やカウンター周りで関連図書を紹介し、貸出に供した。
- ・1月には、子どもが読書に親しむきっかけづくりとして、書名が分からないように絵本3冊を袋に入れて、ヒントとなるテーマを表に書いた「えほんのふくぶくろ」を実施した。全館で110セットを用意し、すべて貸出された。
- ・新着図書がより多くの来館者の目に触れるように、全館で一度貸出した図書も受入後60日間は再度「新着図書コーナー」へ排架することにし、貸出の増につなげた。
- ・市役所の市民課、長浦・平川行政センターにおいて転入者へ図書館の利用案内を配布したほか、袖ヶ浦高等学校の新生に対して高校生向けに作成した利用案内を配布した。また、ブックスタートでは、幼児向けのおすすめリストとあわせて図書館の利用案内「親子のための図書館・図書室まるわかりMAP」を配布し、利用喚起を図った。

外部評価（図書館協議会からの意見）

サービス内容（２）社会情勢の変化に対応したサービスの充実

令和2年度想定市人口 64,000 人

令和2年4月1日市人口 64,519 人

サービス評価指標	実績(R1)	目標値	達成率	
⑩一日あたりのホームページアクセス件数 (件/日)	324.1	315	102.9%	4
⑪一ヶ月あたりのWeb予約件数(件/月)	2,851.8	2,250	126.7%	4
☆⑫学校図書館への対応 ・団体貸出総冊数(冊数/年)◆	3,416	3,000	113.9%	4
⑫学校図書館への対応 ・出張おはなし会参加者数(人/年)◆	6,371	5,000	127.4%	4
⑬レファレンス件数(件)	1,024	800	128.0%	4

◆【平成30年11月改定】学校図書館、学校ボランティア活動の充実を勘案し、目標値を変更した。

◎平均達成率：119.8%【598.9（達成率の合計）÷5（項目数）=119.8】

（後期計画におけるサービス内容）

①情報化社会への対応

今後も、ホームページの充実を図り、またメールマガジンの発行により、新着資料の情報提供や個々に関心の高い資料情報の提供を行うなど、より利便性の高い情報発信を行っていきます。

②学校図書館への対応

学校図書館への支援については、今後も引き続き、団体貸出、レファレンスサービス、学級文庫への読み物のセット貸出を行うなど学校図書館を通した子どもたちの読書への支援をさらに推進します。また学校を訪問してのおはなし会等を開催し、調べ学習の支援を行います。

③高齢化社会への対応

高齢者にとって、より利用しやすい図書館を目指し、今後も大活字本の提供、朗読CDの積極的な収集提供に努めます。

④関連施設・関係課との連携

他の公共図書館との連携により、市民への資料提供をより一層充実させます。また今後も他の公共図書館、学校図書館、博物館などの教育施設との連携を図り、子育て支援を推進し、図書館利用の促進のため、関係課との連携をより強化していきます。

⑤国際化への対応

国際化が急速に進展し、子どもから大人まで、市民が外国の文化に触れる機会も増大していきます。より外国の文化を理解し、外国人に日本文化を紹介するための外国語資料の充実を図り、外国語による利用案内等を作成します。

⑥職業能力開発の要求への対応

労働を取り巻く環境の変化により就職、転職、能力開発、日常の仕事等で情報を必要とする市民は増加しています。こうした利用者に対応するための資料の収集・提供、適切なレファレンスの実施等、個人の学習ニーズに応える機能を高め、図書だけでなく、就労や資格取得のためのパンフレットやチラシ等による情報提供、インターネットを活用した情報や、法律・経済関連のデータベースの提供を行います。

⑦レファレンスサービスの充実と利用促進

レファレンスサービスについては、情報量が増大し、多種多様となっている現代社会において、課題解決のための支援はますます重要になっています。市民の課題解決支援に対応するために必要な図書資料及び電子資料の提供に努めます。

内部評価

○全体評価 : 4 【平均達成率: 119.8%】

- ・図書館電算システムの更新、図書館ホームページのリニューアルによって、利用者にとっての利便性を向上させることができた。
 - 1日あたりのホームページ総ページビュー数 16,575.8件 (平成30年度 19,576.6件)
 - 1か月あたりのウェブ予約件数 2,851.8件 (平成30年度 2,758.8件)
- ・学校からの図書流通システムによる依頼に的確かつ柔軟に対応し、読み物・絵本セットの貸出は昨年度より減少したが、調べ学習等の貸出冊数は増加した。
 - セット貸出を含む学校への団体貸出 3,416冊 (平成30年度 3,270冊)
- ・おはなし会の依頼がない学校に対し図書館から積極的に働きかけたことで依頼件数が増え、学校への出張おはなし会の参加人数が大幅に増加した。(平成29年度 3,492人→平成30年度 6,013人→令和元年度 6,371人)

○課題

- ・図書館のホームページをリニューアルしたが、新しいWebOPAC (ホームページ上の蔵書検索) の操作方法や新たに追加された機能などが、まだ十分に周知されていない。

○今後の対応

- ・新しいWebOPACの操作方法について、ホームページや図書館だよりなどで詳細にわかりやすく説明する。
- ・ホームページをリニューアルし、未所蔵資料のリクエスト、レファレンスをメールでも受け付けることが可能になったので、図書館に来館する時間的余裕がない勤労世代に対しても周知を図る。

取り組み内容

<新規・一部新規・拡充>

- ・12月の図書館電算システム更新にあわせて、図書館のホームページをリニューアルし、パ

ソコン版とモバイル版の自動切替、フォトニュースのコーナーやティーンズページ、図書館ボランティアのページなどの追加、読んだ本や読みたい本の「MY本棚」登録など、利用者の利便性につながる機能が向上した。また、カウンターでは、図書館の資料利用券とICカードを連携させることで、マイナンバーカードやSuica、おサイフケータイによる貸出が可能になった。(令和元年度ICカード登録者45名。)

- ・学校へ団体貸出している読み物・絵本セットの組み替えについて検討したが、提供を開始してから10年以上を経過し、新しいものでも平成13年までに購入したものであり内容的に古くなっていることから、組み替えは行わず、「本・雑誌リユース・デー」の事前配布対象として、学校ごとに必要なものを持ち帰ってもらい、各学校で活用してもらうこととした。
- ・中央図書館で開催される「調べ学習相談会」に先行して、平岡小学校の児童を対象にレファレンスを受け付ける「平岡公民館図書室レファレンスデー」を行った。
- ・平成30年度から導入した国立国会図書館の「れきおん(歴史的音源配信サービス)」を活用し、中央図書館で、8月の名画鑑賞会の上映前に、戦後日本の流行歌(音源は当時のSPレコード)の鑑賞会を行った。

<継続>

- ・ホームページ上で毎月、前月1か月分の袖ヶ浦市関連新聞記事見出し一覧を公開したほか、令和元年度1年間分の記事一覧を冊子体にまとめ、地域情報の充実を図った。また、市役所内で活用してもらえるように、市職員向けの掲示板にはエクセルファイルで掲載した。
- ・メールマガジン、ツイッターを活用して、図書館資料の紹介や読書普及事業のお知らせだけでなく、災害時の臨時休館のお知らせなど、即時性の高いタイムリーな情報を発信した。
(参考) 令和元年度末メールマガジン登録者数181人(平成30年度末167人)
令和元年度末ツイッターフォロワー数390人(平成30年度末155人)
- ・「本・雑誌リユース・デー」では、図書館で不用になった除籍資料を広く再活用してもらうため、市民への提供に先行して市内の保育所、幼稚園、小中学校、学校や保育所、子育て支援拠点、学童保育、養護施設、高齢者施設等に案内を送り、34団体に対して1,764冊を提供した。
- ・出張おはなし会について小中学校の司書教諭や学校司書へ周知するため、学校の読書教育推進会議に児童奉仕担当者が出席して説明した。また、依頼のない学校、学童、保育所等に対しては図書館から個別にPRした。
- ・「夏のトショロ月間」では、「親子いっしょのおはなし会」として、袖ヶ浦高等学校生徒による読み聞かせを行った。また、中央館児童室では昭和中学校図書委員会によるおすすめ図書の紹介展示、長浦の市民ギャラリーにおいて蔵波中学校美術部員による作品展示を行った。
- ・「秋のトショロ月間」において、中央図書館で昭和小学校4年生の児童が作成したオリンピック・パラリンピックのリーフレット「ぼくらオリパラ情報局」を展示したほか、平川図書館では、平川中学校の図書委員と1年生によるおすすめ図書の紹介展示を行った。
- ・中央図書館の青少年コーナーにおいて、袖ヶ浦高校図書委員の選んだおすすめ図書を、10月25日から12月26日まで展示した。
- ・総合教育センターが中央図書館を会場として毎年7月に開催する「調べ学習相談会」では、

講師の助言を受けた参加者の要求に応じて図書館の職員が適切な資料を紹介、提供する形で連携し、小中学生の調べ学習を支援した。

- ・平岡公民館の通学合宿で公民館図書室を活用したほか、平川公民館・根形公民館・平岡公民館の公民館まつりでは「秋のおはなし会」「すきすき絵本タイム」などの事業を連携して行ったほか、平岡公民館・平川公民館合同開催の幼児家庭教育学級を兼ねて、「大型えほんとわらべうた」を開催した。
- ・NPO「子どもるーぶ袖ヶ浦」主催の「子どもるーぶまつり」に参加し、図書館職員とボランティアによる出張おはなし会を実施した。
- ・館内閲覧用の電子図書として朝日新聞、日本経済新聞記事のデータベース、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを導入し、市民の調査研究支援に活用した。夏休み期間中には、読売新聞データベース「ヨミダス」の無料トライアルを導入し、児童生徒の調べ学習に活用した。

日本経済新聞記事データベース閲覧件数90件（平成30年度 閲覧件数30件）

朝日新聞・読売記事データベース閲覧件数60件（平成30年度 閲覧件数128件）

国立国会図書館デジタル化資料閲覧件数31件（平成30年度 閲覧件数62件）

- ・市内中学校生徒の職場体験学習、木更津総合高等学校生徒のインターンシップを受け入れたほか、ちば南部若者サポートステーションの通所者を受け入れ、図書館の仕事の一部に携わってもらった。

外部評価（図書館協議会からの意見）

サービス内容（3）利用者に応じたサービス

令和2年度想定市人口 64,000 人

令和2年4月1日市人口 64,519 人

サービス評価指標	実績(R1)	目標値	達成率	
☆⑭児童サービスの充実 ・ブックスタートにおける本の配布率(%)	82.1	100	82.1%	3
☆⑭児童サービスの充実 ・おはなし会参加者数[館内・館外合計](人)◆	12,759	12,000	106.3%	4
☆⑭児童サービスの充実 ・お薦め本リストの発行(回/年)	4	4	100%	4
⑮青少年サービスの充実 ・お薦め本リストの発行(Y・A)	1	1	100%	4
⑮青少年サービスの充実 ・お薦め本リストの発行(ジュニア)	1	1	100%	4
☆⑯高齢者サービスの充実 ・大活字本の貸出冊数(冊/年)	3,863	5,000	77.3%	2
⑰障がい者サービスの充実 ・宅配サービス(冊/年)	271	350	77.4%	2
☆⑱図書館ボランティアの育成(名)	71	70	101.4%	4
⑲来館者満足度 ・利用者アンケート「図書館全体の満足度」(%)	未実施	75.0		

◆【平成30年11月改定】学校図書館、学校ボランティア活動の充実を勘案し、目標値を変更した。

◎平均達成率：93.1%【744.5（項目ごとの達成率の合計）÷8（項目数）=93.1】

（後期計画におけるサービス内容）

①子どもたちのために

今後も子どもたちが読書の楽しさを体験し、本に親しむことのできる読書環境の充実に向けて、学校、幼稚園、保育所等との連携を図りつつ、「袖ヶ浦市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの発達段階に応じた、わらべうたであそぼう、えほんのへや、おはなし会を開催するとともに、新たに健康推進課の4か月児教室において、ブックスタートを実施し、乳児期からのサービスを提供します。

②高齢者のために

今後も、高齢者に配慮した施設の整備を図り、大活字本などの資料の充実に努めます。また、社会福祉協議会、高齢者クラブ等の関係機関・団体との連携を図りながら、映画会、講習会等の読書普及事業の実施、図書館利用の際の介助など、きめこまかな図書館サービスの提供に努めます。

③図書館利用に障がいのある人のために

宅配サービス等の利用案内を引き続き広報等でPRに努めると共に、目の不自由な方へのサービスについても、要望があった場合には的確に対応できる体制を整えます。

④主体的に学ぶ市民のために

市民が読書に親しむ取り組みとして、図書館サークルやボランティアの協力を得ながら、市民に親しまれる図書館を目指し、あらゆる世代に対し図書館の利用や読書に結びつくよう、各種講座・講演会、名画鑑賞会、資料展示等を開催していきます。また、公民館や博物館等の社会教育機関、学校、民間の関係機関との共催事業等、多様な学習機会の提供に努め、市民の情報活用能力の向上を支援するため、学習機会の提供に努めます。

- a. 余暇活動支援 b. 学習生活及び調査研究支援
- c. IT支援 d. 行政支援 e. ビジネス支援

⑤サークル活動をする人のために

市民が図書館資料を共有する中で交流し、暮らしに根ざした自主的な活動を展開していくことは、地域の文化活動を豊かにします。図書館では市民の文化活動、コミュニケーション活動の拠点として、図書館資料、施設を利用して活動するサークルに対して、その活動を支援します。

⑥ボランティア活動をする人のために

市民のニーズにあった事業を展開していくために、市民の知識や技術を生かした市民協働の図書館運営を目指し、新たに展示、映画会事業をはじめ、様々なボランティアを養成します。

内部評価

○全体評価 : 3 【平均達成率 : 93.1%】

- ・読書普及事業の参加者増に向けた様々な取り組みの効果により、台風被害や新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、おはなし会や映画会等の開催回数が減ったにも関わらず、平成30年度を上回る参加があった。
 - 館内おはなし会実績131回・2,306人(平成30年度143回・2,301人)
 - 館外おはなし会実績349回・10,453人(平成30年度366回・10,215人)
 - 映画会実績57回・3,331人(平成30年度69回・3,102人)
 - 読書普及事業参加者総数20,418人(平成30年度19,396人)
- ・社会教育推進員や図書館ボランティアとの協働による事業運営がさらに定着し、図書館の新規登録や館内の飾り付けなどの積極的な活動は、図書館にとって読書普及事業にとどまらない波及効果があった。
 - 社会教育推進員13名・図書館ボランティア71名(平成30年度13名・74名)
 - 社会教育推進員・図書館ボランティア活動回数539回(平成30年度605回)
- ・台風15号、台風19号被害による臨時休館(9月、10月)、新型コロナウイルス感染防止対策に伴う読書普及事業の中止やサービスの一部制限、臨時休館の影響もあり、高齢者や障がい者を対象としたサービスの実績は昨年度を下回った。

○課題

- ・市人口の増に伴い、ブックスタートの対象人数が年間で500人を超え、ブックスタートの実施回数が増えたほか、会場で図書館利用券の発行を開始するなど、ブックスタートボランティアの負担が大きくなってきている。
- ・子どもの発達段階に応じたおはなし会を推進するため、おはなし会ボランティアには、絵本の読み聞かせや素話だけでなく、幼児向けに手遊びやわらべうたなどのスキルを習得することが必要である。
- ・高齢者が読みやすい資料として大活字本を継続して購入しているが、大活字本の貸出冊数は年々減少している。(平成29年度4,254冊→平成30年度4,123冊→令和元年度3,863冊)
- ・図書館へ来館することが困難な障がい者を対象に実施している宅配サービスは、新規登録はあったものの、利用者の転居等やむを得ない事情もあり、利用実績は昨年度より減少した。(平成29年度339点→平成30年度359点→令和元年度271点)

○今後の対応

- ・ブックスタートボランティア養成講座を開催し、ブックスタートボランティアを増員する。
- ・おはなし会ボランティアを対象とした「おはなし会ボランティアスキルアップ講座」を開催し、手遊びやわらべうたを習得することで、幼児向けのおはなし会の充実を図る。
- ・子育てや子どもの読書に関心のある多くの市民のために、「子どもの本の講座」を開催し、子どもと本をつなぐための素話についての講演を行う。
- ・大活字本を今後も継続して収集するとともに、図書館へ来館しにくい高齢者への対応を次期サービス網計画の中で検討する。
- ・障がい者サービスの案内がサービスの対象者にできるだけ直接届くように、関係機関を通じて、より効果的に配布するよう努めるとともに、今後も定期的にSNS等電子媒体も活用した広報活動を行う。

取り組み内容

<新規・一部新規・拡充>

- ・市内のすべての図書館・図書室に設置している乳幼児向け絵本コーナーについて、保健センターや子ども館などの子育て関連施設、駅やスーパーなどの商業施設にポスターを掲示して周知を図ったほか、乳幼児向け絵本コーナーに隣接して、育児関連図書を集めた「子育て応援コーナー」を中央、長浦だけでなく全館に設置した。
- ・乳幼児と保護者が気軽に図書館を利用できるように、平川図書館の「おはなしのへや」と公民館図書室の「ふれあい読書コーナー」を、開館中は「いつでも親子タイム」として開放した。12月からは、中央図書館「おはなしのへや」を、土日の午前10時から午後4時までの時間帯を親子で絵本の読み聞かせに利用できるよう開放した。
- ・おはなし会の充実とボランティアの増員を目指し、昨年度に養成した絵本の読み聞かせボランティアを対象に、素話を習得するおはなし会ボランティア養成講座中級編(全4回)を実

施し、8名のおはなし会ボランティアを新たに登録することができた。講座では毎回職員やベテランのボランティアが素話を実演し、ボランティア全体のモチベーション向上にもつながった。

- ・中央図書館ラウンジの展示コーナーについて、資料展示ボランティアと連携し、2か月ごとに企画展示を行った。また、社会教育推進員の有志により、中央図書館の児童コーナーの飾りつけを季節ごとに行った。
- ・「秋のトショロ月間」の期間中に、図書館ボランティアの活動を紹介するパネル展示を長浦おかのうえ図書館で行った。
- ・障がい者サービス対象者への広報活動として、障がい者支援課が障害者手帳等の交付時に配布する「障がい福祉のしおり」に図書館の障がい者サービスの案内を綴じ込むよう依頼し、今後は対象者にもれなく周知できることになった。また、社会福祉協議会が開催する「障がいのある方々が集う会」の参加者全員に案内のチラシを配布し、宅配サービス1名の新規登録に結びついた。

<継続>

- ・4か月児を対象に、市の保健センターでブックスタートを毎月実施したが、コロナウイルス感染拡大防止対策のため、3月は4か月児教室が中止となり、ブックスタートも実施できなかった。対象人口が増えたことにより、ブックスタートを1日に2回実施する月もあった。また、ボランティアからの積極的な提案により、事業が充実した。4か月児教室に参加する親子には、ほぼ100%配布できているが、4か月教室に参加しない親子もいるため、保健センターでの対象人口に対する配布率は約78.7%である。4か月児教室に参加できなかった親子には中央図書館で受け渡しを行い、最終的な配布率は82.1%となった。
- ・ブックスタートのフォローアップ事業として、公民館図書室で「すきすき絵本タイム」を実施した。
- ・おはなし会と子ども映画会や「かみのおはなやさん」とのタイアップ開催、開始時刻を定めずに、一定の時間内でおはなしを聞きたい子どもにおはなしをする中央図書館の「おはなしのじかん」、子ども映画会とおはなし会に参加した子どもに図書館のイメージキャラクターを描いた手製の「トショロカード」を配り、カードを5枚集めるとプレゼントを渡す、などの平成30年度から始めた取り組みを継続して行った。
- ・乳幼児から高校生まで、年代別のおすすめ図書リストを4種類6回作成して、館内だけでなく学校や保育所等に配布した。また、こどもの読書週間記念行事で配布するおすすめ図書リスト「読んであげると小さい子も楽しめる物語」を改訂したほか、夏休み期間には読書感想文におすすめの図書リスト「動物と人」を作成した。
- ・夏休み期間中に「夏のトショロ月間」を開催し、社会教育推進員が企画した「マザーグースでてあそび」「はらぺこあおむしの手づくり工作」のほか書庫探検、子どもが自分で本の貸出体験をする「自分でピッ！してみよう」、おはなし会ボランティアや袖ヶ浦高校と連携した「なつやすみとしょかんであそぼう」、グループサークルによる人形劇など、子どもの読書活動につながる様々なイベントを行い、参加者は昨年度より大幅に増加した。

全館の参加者合計2,163名（平成30年度1,364名）

- ・読書週間をはさんで「秋のトショロ月間」を開催し、中央ではアガサ・クリスティーについての「文芸講座」、長浦では高齢者に身近な生活課題を取り上げた「暮らしに役立つ生活講座～老後の生活設計のあり方」を開催した。また、社会教育推進員が企画した中央図書館の中庭を活用した「トショロの庭 Tea Time」、オペラ作品のビデオ上映、映画会ボランティアが企画した「ようこそ！秋はミステリーの世界へ」と題した特集上映、図書館登録サークルによる作品展示やコンサート等を行ったほか、平川・根形・平岡では「本のおたのしみ袋」の貸出も行い、参加者は昨年度より増加した。

全館の参加者合計1,676名（平成30年度1,359名）

- ・高齢者が利用しやすい資料として、中央、長浦、平川で朗読CDを25点（24タイトル）、大活字本を71冊（35タイトル）購入した。
- ・障がい者サービスとして、心身の障がいのため来館が困難な市民に対して宅配サービスを行った。視覚障がいのある利用者には視覚障がい者用データベースを活用し、デイジー図書を提供した。個々の利用者が希望するジャンルの図書リストを作成するなどきめ細かく対応した。

宅配利用登録者 10名・貸出点数271点（平成30年度10名・359点）

うちデイジー利用登録者 1名・貸出点数63点（平成30年度1名・72点）

- ・参加者相互の交流の機会をつくり、事業内容の理解を深めることを目的に、文芸講座の最終日に講師との懇談会を実施したほか、名画鑑賞会では上映後に感想を話し合う「シネマトーク」を中央と図書館と平川図書館で各2回実施した。（長浦でも「シネマトーク」を2回予定していたが、台風15号被害とコロナウイルス感染拡大防止対策のため中止した。）

外部評価（図書館協議会からの意見）

議題（２）袖ヶ浦市第３次図書館サービス網計画（後期計画）の成果と課題について

サービス内容（１）資料及び情報の収集、提供等

サービス指標	目標値	実績値				進捗 状況
		H28	H29	H30	R 元	
購入タイトル数/購入冊数(%)	90	83.0	85.5	85.2	85.8	3
蔵書冊数(所蔵図書冊数)(冊)	710,000	678,517	688,359	698,317	701,931	3
市民 1 人当たりの蔵書冊数(冊)	11.1	10.9	10.9	11.0	10.9	3
袖ヶ浦市関係資料の受入冊数(冊)	270	328	303	392	271	4
年間利用者数(人)	155,000	147,201	146,180	148,243	140,856	3
市民新規登録者数(人)	1,200	1,128	1,159	1,165	1,227	4
市民登録率(%)	60	44.4	43.3	42.5	41.5	2
資料貸出数(市外含む総計)(点)	650,000	561,459	542,863	548,560	527,781	3
市民 1 人当たりの貸出数(点)	10.2	9.0	8.6	8.6	8.2	3

【これまでの主な取組・成果】

市民の多種多様な学習要求に応えられるように、複本での購入を抑制し、図書の購入タイトル数を増やすよう努めたほか、分野別に予算配分を行い、市民の関心が高く、常に新しい情報を求められる医学や社会福祉の分野の図書については重点的に更新を図った。また、郷土行政資料を中心に、寄贈図書の収集も積極的に行った。

さらに、中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館が毎月、時宜にあった共通のテーマで特設コーナーをつくったり、一方で、館ごとに「認知症」「闘病記」「介護支援」「ビジネス」など特色あるコーナーを新設するなど、市民に関心を持ってもらえるよう既存の図書館資料の紹介にも工夫した。子ども向けの「えほんのふくぶくろ」、大人向けの「本のお楽しみ袋」などの企画も好評だった。

市の人口が増加する中で、転入者や市内の高校の新生に図書館の利用案内を配布するだけでなく、ブックスタート会場での登録受付など図書館利用につながる様々な広報活動に取り組み、市民の新規登録者数は増加した。

【これからの課題】

後期計画 5 年の中で、幅広いタイトルの図書の購入に努め、さらに、図書館の蔵書を市民に紹介する様々な取り組みを行ってきた。インターネットやスマートフォンが家庭や職場にも普及し、多種多様な情報があふれている中で、読書や生活課題の解決につながる資料を様々な切り口で紹介し、提供する取り組みを、今後も子どもから高齢者まで様々な年代に対して行っていく必要がある。

図書館で新規に登録する市民は年々増加しているが、それにも関わらず市民登録率は減少している。これは、本市では 10 年間未利用の登録者を年度末に除籍しており、新

規登録者数よりも除籍になる登録者数の方が多かったことによる。

市民登録率を年代別にみると、10代の登録率は80%を超えているが、20代になると登録率が大きく減り始めている。働き方や生活様態が大きく変わりつつある中で、これらの、いわゆる勤労世代が図書館を仕事や生活に活用できるような働きかけが、資料面、運営面それぞれに必要である。また、地域別にみると、平岡地区、中川・富岡地区では、61歳以上の登録率が他の地区より低くなっている。これらの地域は市内でも高齢化が進行している地域であり、図書館を利用するための交通手段がない市民へのアプローチも検討しなければならない。

市民一人当たりの資料貸出数も年々減少しているが、資料種別の内訳をみると、児童書の貸出は増え、一般書、雑誌、視聴覚資料の貸出が減少している。子どもについては学校等と連携することで市内全体で均一なサービスを推進することができるが、大人については年代や地域によって様々なニーズがあることから、それぞれの対象に適切に対応したサービスを展開するとともに、開館日や開館時間等についても、地域の状況に配慮した運営を検討していく必要がある。

サービス内容（2）社会情勢の変化に対応したサービスの充実

サービス指標	目標値	実績値				進捗状況
		H28	H29	H30	R元	
1日当たりのHPアクセス件数(件)	315	253.1	251.2	255.6	324.1	4
1ヶ月当たりのWeb予約件数(件)	2,250	2352.3	2,530.7	2,756.4	2,851.8	4
学校への団体貸出冊数(冊)	3,000	3,885	3,034	3,270	3,416	4
学校への出張おはなし会参加者数(人)	5,000	4,583	3,492	6,013	6,371	4
レファレンス件数(件)	800	851	916	1,139	1,024	4

【これまでの主な取組・成果】

①情報化社会への対応

図書館のホームページやメールマガジンを通じて、読書普及事業のお知らせだけでなく、新着図書など図書館資料に関する情報提供を積極的に行ってきたが、平成30年度には図書館独自のツイッターを開始し、図書館からの情報発信を質量ともにさらに充実させることができた。

また、令和元年度には電算システムの更新とホームページのリニューアルを行い、モバイル版ホームページへの自動切替、ICカード連携による貸出などの新しい機能によって利用者の利便性が向上した。

②学校図書館への対応

図書流通システムを活用した団体貸出や、学級文庫等の読み物のセット貸出を行い、学校図書館を通じた図書館資料の提供を行ったほか、学校を訪問して出張おはなし会等

を開催し、子どもたちの調べ学習と読書活動を支援した。

特に出張おはなし会について、朝の読書の時間に素話を行うなど実施方法を工夫し、図書館からも積極的に働きかけを行い、平成30年度以降参加者数が大幅に増加した。

③高齢化社会への対応

高齢者が利用しやすい大活字本や朗読CDを継続して収集したほか、中央図書館に「認知症コーナー」、長浦おかのうえ図書館に「闘病記コーナー」、平川図書館に「介護支援コーナー」と、高齢者にとって関心の高い図書を集めたコーナーを新たに設置した。

中央図書館には、国立がん研究センターの発行した資料を集めた「がんサポートコーナー」を設置した。また、各コーナーには関連各課や機関発行のチラシを置くなどして、情報提供を行った。

④関連施設・関係課との連携

他の公共図書館との相互協力により、未所蔵資料のリクエストを提供した。また、市長部局や公民館・博物館と連携し、ブックスタートや講座等の共催など、相互の事業の充実や図書館の利用促進につながった。また、「夏のトショロ月間」や「秋のトショロ月間」を中心に、市内の学校との連携を強化し、図書委員会等による児童生徒のおすすめ図書の紹介や部活動の成果発表、袖ヶ浦高等学校生徒による絵本の読み聞かせなど、市民に親しまれる図書館活動が充実した。

⑤国際化への対応

小説や絵本の外国語訳図書、日本文化を紹介する外国語図書を継続して収集したほか、特設コーナーでアジアやアメリカなど、関心の高い国や地域についての紹介も行った。

⑥職業能力開発の要求への対応

就労や資格取得のためのパンフレットやチラシの収集、法律・経済関連のデータベースの提供を継続して行ったほか、令和2年度から起業や転職、店舗経営、会議資料の作り方など職業能力開発に役立つ図書を集めた「ビジネスコーナー」を長浦おかのうえ図書館に新設した。

⑦レファレンスサービスの充実と利用促進

子どもの調べ学習や読書相談、大人の課題解決支援などにカウンターで積極的に対応し、レファレンスの受付件数は増加している。また、令和元年度にホームページをリニューアルし、未所蔵リクエストやレファレンスをメールでも受付できるようになった。

【これからの課題】

電子情報通信に関する技術は、図書だけでなく、新聞・雑誌等の逐次刊行物、視聴覚資料など、図書館が扱う情報提供のあり方に大きく影響する。また、図書館からの情報発信や様々な利便性向上に活用できることから、今後も電算システム更新のタイミングを中心に、情報技術の進展に対応したサービスを導入していく必要がある。

そして、図書館として多様化する市民ニーズに対応した様々なアプローチが今後も求められることから、学校や社会教育施設だけでなく、子育て関連施設や福祉施設など、様々な機関との連携を強化し、資料の収集や提供、読書普及事業を充実させていく必要

がある。

また、レファレンス処理件数は年々増加しているが、市民の課題解決を支援し、情報提供する身近な施設として、図書館のレファレンス機能は、今後も重要性を増していくものと考えられる。職員は、参考図書や郷土資料などの所蔵資料に精通するとともに、データベースなどの電子資料も活用し、的確な資料や情報を提供できる専門的知識と技術を習得することが必要である。

サービス内容（３）利用者に応じたサービス

サービス指標	目標値	実績値				進捗状況
		H28	H29	H30	R元	
ブックスタートにおける本の配布率(%)	100	92.8	84.6	82.7	82.1	3
おはなし会参加者数館内・館外合計(人)	12,000	10,580	8,917	12,516	12,759	4
お薦め本リストの発行(回)	4	4	4	4	4	4
YA お薦め本リストの発行(回)	1	1	1	1	1	4
ジュニアお薦め本リストの発行(回)	1	1	1	1	1	4
大活字本の貸出冊数(冊)	5,000	4,419	4,254	4,123	3,863	2
宅配サービスの貸出冊数(冊)	350	388	339	359	271	2
図書館ボランティアの登録者数(人)	70	59	71	74	71	4

【これまでの主な取組・成果】

①子どもたちのために

公民館図書室を含む全館に幼児向け絵本コーナー、育児書コーナーを設置した。また、学校だけでなく、幼稚園、保育所、特別支援学校、学童保育等様々な機会を捉え、出張おはなし会を実施したほか、図書館内においても、子どもの発達段階に応じて、わらべうたであそぼう、えほんのへや、おはなし会を定期的で開催するとともに、幼児向け絵本から高校生向けまで4種類のおすすめ図書リストを作成し、保育所や学校等へ配布した。

さらに、4か月児を対象としたブックスタートを市の保健センターで、ブックスタートのフォローアップ事業として公民館図書室で「すきすき絵本タイム」を実施したほか、「こどもの読書週間記念行事」や「夏のトショロ月間」など長期間のイベントを開催し、子どもたちの読書への関心を高める様々な事業を実施した。

②高齢者のために

大活字本や朗読CDを積極的に収集、提供したほか、特設コーナーで認知症や介護について取り上げた際は、関連するパンフレットを高齢者支援課から提供してもらい、あわせて配布した。また、定例の映画会や、「秋のトショロ月間」において高齢者に関心の高いテーマを取り上げた講座・講演会を開催した。

③図書館利用に障害のある人のために

宅配サービスによる資料の貸出を行い、平成28年度からは視覚障がい者等向けのデータベースにも加入し、活字による読書が困難な市民への資料（デイジー）提供を開始した。

④主体的に学ぶ市民のために

時宜に合ったテーマを特設コーナーの中で取り上げ、月替わりで図書館資料を紹介したほか、市長部局や公民館、博物館、学校等とも連携しながら、各種講座・講演会、映画会、資料展示等を開催した。特に社会教育推進員は、地域の教育力向上を担う市民のリーダーとして、「夏のトショロ月間」「秋のトショロ月間」を中心に、特色ある事業を企画・実施し、いずれも好評だった。

⑤サークル活動をする人のために

図書館資料、施設を利用して活動するサークルを支援し、「夏のトショロ月間」、「秋のトショロ月間」において日頃の活動の成果を発表する場を提供した。

⑥ボランティア活動をする人のために

後期計画では、市民との協働による図書館運営を推進し、市民のニーズにあった事業を展開することを重要視し、従来から活動していたおはなし会やブックスタートのボランティアだけでなく、映画会や資料展示、工作などの新しい分野の図書館ボランティアを養成した。市民の知識や技術を活かすことで、図書館事業の内容をさらに充実させることができた。

【これからの課題】

後期計画の5年間で、児童サービスについては、市民が参加しやすくなるための様々な取り組みによっておはなし会の参加者が増え、児童書の貸出も増加している。今後は、ブックスタートの対象である0歳児と、おはなし会の対象となる4歳以上の子どもとの間の、2、3歳児向けのサービスを充実させていく必要がある。

高齢者向けのサービスとしては、資料提供の面では、大活字本の貸出が減少しており、周知方法や提供方法について工夫する必要がある。また、関係機関と連携を図りながら、関心の高いテーマを取り上げた講座、講演会等を今後も企画し、図書館資料の利用にもつなげていく必要がある。

また、障害者差別解消法（平成28年）、読書バリアフリー法（令和元年）が施行され、これまで以上に障がい者サービスの重要性は増してきているが、本市では宅配サービスの貸出が減少し、デイジー図書の利用も増えていないことから、関係機関を通じて周知を図っていく必要がある。

図書館ボランティアの育成やサークル活動の支援は、図書館事業の充実にもつながることであり、今後も相互の交流を深める機会をつくりながら、新たな募集、養成も行っていかなければならない。

サービス拠点（１）図書館の役割

①中央図書館

【特徴・現状】

袖ヶ浦市の中心館として、市民への予約リクエスト、レファレンスサービスに関しては県内他市図書館、県外図書館、国立国会図書館等と連携し、課題解決支援の中心的な役割を担っている。

また、地区館・公民館図書室との連絡調整、市役所各課との連携事業を行うほか、市内小中高等学校等とも連携し、読書普及事業を推進している。

さらには、市内各保育所等の子育て支援施設、小中学校等への出張おはなし会を実施し、児童サービスの拠点となっている。

一方で、昭和地区の地区図書館としての役割も担っており、近年は袖ヶ浦駅南側の宅地開発に伴い、若い世帯の人口が大幅に増え、児童書の利用が伸びてきている。小学校や学童保育施設が隣接していることから、子どもを対象とする事業への参加も増えている。

【課題】

地区人口の増加により、新規登録者は増加しているが、10代後半以降の年代の図書館利用が減少していることから、地区内の袖ヶ浦高等学校への働きかけを、さらに進める必要がある。

また、建築から34年を経過しており、施設の老朽化への対応が必要である。

②長浦おかのうえ図書館

【特徴・現状】

昭和50年代の長浦駅前開発、のぞみ野地区の開発等により地区人口が市内で最も多く、市区内に新興住宅地も建設されていることから資料の貸出は最も多いが、地区内の高齢化により、利用は減少している。

建設当初は「貸出中心館」という方針により座席等の設置を行わなかったが、開館後に閲覧机等を設置し、近年は滞在型の利用が増加している。

30万冊収容可能な収蔵庫があり、学校図書館との連携サービスの拠点として、市内各小中学校の調べ学習や授業課題への対応を行っているほか、近年は、障がい者サービスについても担当館となっている。

また、長浦公民館と隣接していることから、施設の貸出については長浦公民館の補完的な役割も担うほか、1階には市民ギャラリー、ながうら健康福祉支援室も併設している。

【課題】

今後も増加していくであろう、地区内の高齢者へのサービスの検討が必要である。また、かねてより学生が自習できるスペースの要望もあり、滞在型サービスへの対応、学

校図書館との更なる連携について推進していく必要がある。

③平川図書館

【特徴・現状】

中川・富岡地区における図書館サービスの拠点である。東横田駅に近い平川公民館の3階にあり、館長は平川公民館長が兼務している。その他の正規職員はいないことから、蔵書管理は中央図書館、長浦おかのうえ図書館の職員が行い、読書普及事業についても中央図書館、長浦おかのうえ図書館の職員が、図書館ボランティア等と連携しながら企画運営している。定例の事業としておはなし会と映画会を開催しているほか、平川保育所と吉野田保育所にも定期的に来館してもらい、「おはなしのへや」でのおはなし会を実施している。公民館まつりのときは、「秋のおはなし会」等の図書館事業を行っている。

開館当初は中高生の利用も多かったが、近年の著しい少子高齢化により、利用は減少している。公民館の1階にはひらかわ健康福祉支援室も併設されており、高齢化に対応した資料提供として、令和2年度から「介護支援コーナー」を新設した。また、地区内には児童養護施設があり、定期的な利用がある。

【課題】

少子高齢化により、利用が減少している。また、施設の3階にあり地区住民に認識されにくいことから、新規利用者の開拓のためにも、公民館への来館者を3階に案内するような試みや、公民館事業等との連携について検討する必要がある。

サービス拠点（2）公民館図書室の役割

①根形公民館図書室

【特徴・現状】

絵画や陶芸等美術関連の講座やサークルが多く活動していることから、美術関連の資料を多く置いており、サークル活動の前後に活動の参考に利用する市民が多い。公民館事業の特質から、市内全域からの利用があり、近年は資料の貸出が増えている。

図書室内にはマットを敷いた「ふれあい読書コーナー」があり、「いつでも親子タイム」を実施している。

隔月で「すきすき絵本タイム」を開催しているほか、公民館まつりのときは、図書室職員が図書館ボランティアとも連携し、図書室独自のイベントも行っている。また、夏休み期間には、公民館事業「ねこまる」でも活用されている。

【課題】

貸出が増えてはいるものの、市内全体で見ると利用者の絶対数は少ない。公民館事業

の中で図書室がより活用されるように、公民館との連携を深めていく必要がある。

②平岡公民館図書室

【特徴・現状】

平岡地区のサービス拠点として、地区住民の身近な読書施設となっており、市内の図書館・図書室では最も利用が少ないが、近年は資料の貸出が増えている。図書室内にはマットを敷いた「ふれあい読書コーナー」があり、「いつでも親子タイム」を実施している。親子で気兼ねなく利用できるスペースとして、乳幼児絵本や子育て関連図書も充実しているほか、大活字本コーナーも設置している。

公民館の国際交流の講座開催時には市内他館からもテーマ関連図書を集め、提供しているほか、公民館まつりのときは、図書室職員が図書館ボランティアとも連携し、図書室独自のイベントも行っている。

【課題】

貸出が増えてはいるものの、市内全体で見ると利用者の絶対数は少ない。公民館事業の中で図書室がより活用されるように、公民館との連携を深めていく必要がある。

報告（１） 令和２年度袖ヶ浦市立図書館経営方針及び重点施策について

1. 経営方針

図書館では、第２期教育ビジョンの基本方針の一つである「市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援」を推進し、「市民に親しまれる図書館活動の充実」を目指します。

そのため、第３次図書館サービス網計画に基づき、市民の多種多様・高度化する学習要求に応えるための条件整備を図り、「いつでも、どこでも、誰でも、どんな資料でも」利用できる、市民に親しまれる図書館運営に努めるとともに、「市民の書齋として、思索の場として、そして、市民のふれあいの場として」さらに充実した図書館づくりを進めます。

2. 重点施策

○：継続、◎：拡充・一部新規、☆：新規事業

(1) 図書館資料の充実

利用者にとって魅力のある図書館とは、古い資料から新しい情報まで、個人個人の読書要求に応えられる資料の豊富さにあります。「図書館資料収集規程」及び「図書館資料選定基準」に基づき、図書館資料の一層の充実に努めるとともに、利用者のニーズに合致した資料の活用を図ります。

○開架書架の５％程度を更新できるように新刊図書を整備するとともに、少子高齢化社会が進行する中で、必要とされる資料の充実をはかります。また、郷土行政資料については寄贈を積極的に呼びかけます。

☆市内でも高齢化の進行が著しい地域にある平川図書館に、新たに「介護予防・介護支援コーナー」をつくり資料の充実に努めます。

◎ビジネスマナーや資料作成、職場トラブル、就職案内の本など、勤労世代の課題解決に役立つ資料を充実させ、特設コーナーでも取り上げ積極的にPRします。

○新聞記事、法律情報、国立国会図書館デジタル化資料などの電子図書（データベース）を提供します。地域情報の充実のため、袖ヶ浦市関連の新聞記事見出し一覧を作成してホームページ上に公開するなど、市民の多種多様な調査研究を支援します。

○様々なおすすめ図書の紹介、パスファインダー（調べ案内）の作成等を通じて、教養や調査研究等に資する情報の提供と図書館資料の活用を推進します。

○視覚障がい者用データベースを活用し、図書館利用に障がいのある人が利用しやすい資料を提供します。

【主な取り組み】

- ・内容の改定の頻度が高い医学書、社会福祉関連図書の充実に図り、認知症や介護、終活など高齢者の関心が高い図書を積極的に収集します。
- ・年間を通じて新たな「介護予防・介護支援コーナー」を市内でも高齢化の進行が著

しい地域にある平川図書館に設置し、PRと資料の充実に努めます。

- ・20代から50代の勤労者層の利用を促すため、ビジネスマナーや資料作成、職場トラブル、就職案内の本など、課題解決に役立つ資料を充実させ、特設コーナーでも取り上げ積極的にPRします。

(2) 乳幼児期からの読書活動の推進

子どもが主体的に読書活動を行うことを目指し、「第3次子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館や公民館図書室と連携を図りながら、乳幼児期から青少年期まで、子どもの発達に応じて読書の楽しさを実感するとともに、いつでも本に親しむことのできる読書環境の充実に向けた活動を推進します。

- ◎子育てや子どもの読書に関心のある多くの市民のために、「子どもの本の講座」を開催し子どもと本をつなぐための素話についての講演を行います。
- ◎子どもの発達段階に応じた各種おはなし会、「すきすき絵本タイム」、学校や保育所等への出張おはなし会を実施します。また、おはなし会の更なる充実とボランティアのスキルアップを目指し、おはなし会ボランティアスキルアップ講座を実施します。
- ◎乳幼児期からの発達段階に応じた読書活動を推進し、子どもが本に親しむ環境を一層充実させるため、4か月児を対象にブックスタートを実施します。また、ブックスタートボランティア養成講座を行い、ブックスタートの充実に図ります。
- 「こどもの読書週間記念行事」や「夏のトショロ月間」等、1か月単位での読書普及活動を行い、いつでも本に親しむことのできる読書環境の充実に図ります。
- 中学校、高校の図書委員会等と連携し、青少年の図書館利用喚起を図ります。

【主な取り組み】

- ・おはなし会ボランティアスキルアップ講座では、手遊びやわらべうたを習得することを目的とした講座を行い、幼児向けのおはなし会の充実に図ります。また、子育てや子どもの読書に関心のある市民のために、6月に「子どもの本の講座」を開催し、子どもと本をつなぐための素話についての講演を行います。
- ・ブックスタート事業の開催回数の増加に対応するため、ブックスタートボランティアの養成講座を開催し、ブックスタートボランティアを新たに養成します。

(3) 高齢化社会に対応した図書館サービスの充実

急速に進展する社会の高齢化に対応するため、高齢者にも利用しやすい図書館資料や、生きがいを促進する各種事業の充実、図書館が憩いの場となるよう快適な読書環境の整備に努めます。

- 大活字本や視聴覚資料など的高齢者が利用しやすい資料の収集を進めるとともに、高齢者の生活課題に即した資料の提供を積極的に進めます。
- ☆市内でも高齢化の進行が著しい地域にある平川図書館に、新たに「介護予防・介護支援コーナー」をつくり資料の充実に努めます。（再掲）
- 豊富な視聴覚資料を活用し、映画会ボランティアとともに定期的に名画鑑賞会を開

催するほか、「秋のトショロ月間」において、高齢者に関心の高いテーマを取り上げて講座を開催します。

【主な取り組み】

- ・年間を通じて新たな「介護予防・介護支援コーナー」を市内でも高齢化の進行が著しい地域にある平川図書館に設置し、PRと資料の充実に努めます。(再掲)
- ・大活字本や朗読CD等、高齢者が利用しやすい資料を今後も継続的に収集します。
- ・高齢者にとって関心の高い生活課題について、「秋のトショロ月間」等の機会に講座を開催するとともに、関連する資料を館内の特設コーナーなどで特化して取り上げていきます。

(4) 情報化社会に対応した電子図書館サービスの充実

情報化社会の進展に伴い、電子媒体を活用した様々な情報提供の充実や、コンピューターシステムを活用した利便性の向上に努めます。

☆リニューアルした図書館のホームページで可能になった新しいサービスやWebOPACの操作方法について周知を図り、ホームページや図書館だよりなどを通じて詳細に、わかりやすく説明します。

- ホームページやツイッターでの情報発信、メールマガジンの配信を通じて、市民への図書館及び図書館資料に関する情報提供の充実を図ります。
- 新聞記事、法律情報、国立国会図書館デジタル化資料などの電子図書(データベース)を提供します。地域情報の充実のため、袖ヶ浦市関連の新聞記事見出し一覧を作成してホームページ上に公開するなど、市民の多種多様な調査研究を支援します。(再掲)
- 視覚障がい者用データベースを活用し、図書館利用に障がいのある人が利用しやすい資料を提供します。(再掲)

【主な取り組み】

- ・ホームページや図書館だより、館内の掲示を通じて、新しいWebOPACの操作方法や新たな機能について、より詳細にわかりやすくPRしていきます。
- ・ホームページをリニューアルし、未所蔵資料のリクエスト、レファレンスをメールでも受け付けることが可能になったので、図書館に来館する時間的余裕がない勤労世代に対して周知を図ります。

(5) 図書館運営への市民参加の推進

図書館の運営に利用者の声を反映させる仕組みづくりに努めるとともに、市民の技術や知識、経験をボランティアとして活かせる環境づくりを推進します。

- 図書館のサービス状況について、図書館協議会の協力を得ながら点検・評価を行い、

その結果を市民に公表します。

- 事業の充実と利用の拡大を図るために、社会教育推進員や図書館ボランティアと協働し、読書普及事業を推進します。また、図書館で活動するボランティア相互の連携を図るため、図書館ボランティア総会を開催します。
- ◎おはなし会の更なる充実とボランティアのスキルアップを目指し、おはなし会ボランティアスキルアップ講座を実施します。（再掲）
- ◎ブックスタートボランティア養成講座を行い、ブックスタートの充実を図ります。（再掲）
- ☆図書館ホームページの「ボランティアのページ」に、図書館ボランティアの実績や活動風景を掲載します。
- 「秋のトシヨロ月間」の中で、図書館を利用するグループサークル等に学習成果を発表する場を提供します。

【主な取り組み】

- ・おはなし会ボランティアスキルアップ講座では、手遊びやわらべうたを習得することを目的とした講座を行い、幼児向けのおはなし会の充実を図ります。また、子育てや子どもの読書に関心のある市民のために、6月に「子どもの本の講座」を開催し、子どもと本をつなぐための素話についての講演を行います。（再掲）
- ・ブックスタート事業の開催回数の増加に対応するため、ブックスタートボランティアの養成講座を開催し、ブックスタートボランティアを新たに養成します。（再掲）
- ・図書館ホームページの「ボランティアのページ」に、図書館ボランティアの実績や活動風景を掲載します。

令和2年度図書館事業一覧

(単位：千円)

No.	事業名 (事業費)	目的・内容	時期・回数	対象・人数										
1	図書館協議会 関係費 【222】	地域住民と図書館の架け橋的役割を担う委員が、 図書館の持つ課題について研究協議し、図書館奉 仕活動の振興を図ります。	会議 3回 7月・10月・2月	協議会委員 10人										
2	図書館運営事務 費 【56,015】	市民に親しまれる図書館活動の充実を目指し、 中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書 館、公民館図書室を有機的に結合させ、「いつで も、どこでも、誰でも、どんな資料でも」利用で きる図書館づくりを進めます。	開館予定日数 中央・長浦 294日 平川 298日 根形・平岡 299日	市全域										
3	図書館資料購入 費 【26,618】	中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書 館、公民館図書室の資料を計画的に整備し、市民 の生涯学習要求に応じた資料の充実を図ります。	通年	市全域										
	(1) 図書購入 (21,441)	<ul style="list-style-type: none"> ・中央 4,503冊 (4,570冊) ・長浦 4,618冊 (4,663冊) ・平川 1,169冊 (1,181冊) ・根形 275冊 (286冊) ・平岡 259冊 (270冊) 計 10,824冊 (10,970冊) () 内は昨年度数												
	(2) 視聴覚資料 購入 (375)	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD 10点 (10点) ・コンパクトディスク 80点 (90点) 計 90点 (100点) () 内は昨年度数												
	(3) マイクロ フィルム等購入 (239)	三大新聞の千葉版及び地方新聞のマイクロフィ ルム、CD-ROMを収集し、地域の遡及的な調査 研究に役立てます。 <ul style="list-style-type: none"> ・朝日、毎日、読売新聞 (千葉版) ・千葉日報、新千葉新聞 												
	(4) 新聞・雑誌 購入 (2,793)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 50%;"><新聞></td> <td style="text-align: center; width: 50%;"><雑誌></td> </tr> <tr> <td>・中央 12紙 (12紙)</td> <td>93誌 (90紙)</td> </tr> <tr> <td>・長浦 10紙 (10紙)</td> <td>62誌 (58紙)</td> </tr> <tr> <td>・平川 4紙 (4紙)</td> <td>26誌 (24紙)</td> </tr> <tr> <td>計 26紙 (26紙)</td> <td>181誌 (172紙)</td> </tr> </table> () 内は昨年度数	<新聞>	<雑誌>	・中央 12紙 (12紙)	93誌 (90紙)	・長浦 10紙 (10紙)	62誌 (58紙)	・平川 4紙 (4紙)	26誌 (24紙)	計 26紙 (26紙)	181誌 (172紙)		
<新聞>	<雑誌>													
・中央 12紙 (12紙)	93誌 (90紙)													
・長浦 10紙 (10紙)	62誌 (58紙)													
・平川 4紙 (4紙)	26誌 (24紙)													
計 26紙 (26紙)	181誌 (172紙)													
	(5) その他 (1,770)	<ul style="list-style-type: none"> ・官報情報データベース、法情報データベース ・図書データ作成ほか 												
4	電算処理事業 【14,504】	中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書 館、公民館図書室のネットワークを活用し、迅速 かつ均一な図書館サービスの提供を図ります。 また、ホームページを充実させ、利便性の向上 と図書館からの情報発信に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館電算システム (図書館業務用ソフト及び 電算機器一式) ・朝日新聞、日本経済新聞データベース 	通年	市全域										
5	読書普及事業 【1,070】	読書に関する様々な講座・講演会を開催し、よ り広範囲な住民の図書館利用の促進と、読書の質 的向上を図ります。		市全域										

No.	事業名 (事業費)	目的・内容	時期・回数	対象・人数
	(1) 児童奉仕推進事業 (64)	読書への導入として、乳幼児期から子どもの発達段階に応じた各種おはなし会を行います。 また、ボランティアを育成し、おはなし会の更なる充実を図ります。 ・「こどもの読書週間」記念行事 ・おはなし会、おはなしのじかん ・えほんのへや ・わらべうたであそぼう ・すきすき絵本タイム ・出張おはなし会 ・おはなし会ボランティアスキルアップ講座	通年 全館 中央・長浦・平川 中央・長浦 長浦 根形・平岡 保育所ほか 年2回	0歳～12歳 4歳～小学生 2・3歳児 0歳児～ // 市全域 ボランティア
	(2) ブックスタート (728)	乳幼児期からの読書活動を推進するため、保健センターの4か月児教室開催時に、幼児向け絵本の読み聞かせを行いながら絵本などを手渡します。 ・ブックスタートボランティア養成講座	通年 (12回) 9月～11月 (4回)	4か月児 10名
	(3) 子どもの本の講座 (100)	子どもの本について様々な角度から取り上げて、子どもの本と読書に対する興味を深めます。	11月か12月 (1回)	60人
	(4) 文芸講座 (81)	文芸作品をテキストとして、講師を招いて読解し、連続講座の中で作品の理解を深めます。	11～12月予定 (全4回)	各50人
	(5) 資料展示 (8)	図書館所蔵資料の中から特定のテーマのものを取り上げて展示することにより、ふだん目にふれにくい資料を紹介し、読書に対する興味を深めます。	通年 (6回)	
	(6) 視聴覚資料活用事業 (12)	図書館所蔵の視聴覚資料を有効に活用し、映画会を行います。 また、映画会ボランティアを養成し、市民が図書館の事業に積極的に参加できる場を設けるとともに事業の充実と利用の拡大を図ります。	通年 名画 44回 子ども 22回	【定員】 中央 80人 長浦 120人 平川 30人
	(7) 夏のトシヨロ月間 (18)	夏休み期間中に、子どもの知的好奇心を刺激する講座や、親子で読書を楽しむ様々な催しを行い、図書館に親しみながら、将来の図書館を活用した生涯学習のための基礎をつくる場とします。	7月～8月	
	(8) 秋のトシヨロ月間 (14)	読書週間（10月27日～11月9日）の前後に、市民がより読書と図書館に親しめるような様々な催しを行うとともに、図書館利用グループ等の学習成果発表の場を設けて、市民の交流の場とします。	10月～11月	
	(9) 障がい者サービス (40)	図書館利用に障がいのある市民を対象に、宅配サービスや視覚障がい者が利用しやすい資料の提供等を実施します。	通年	
	(10) 社会教育推進員活用事業 (6)	市民のリーダーとして社会教育推進員を養成し、図書館事業に活用していくことで、地域の教育力の向上と新しい図書館づくりを目指します。	会議 3回 7月・9月・2月	推進員 13人

報告（２）袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画の策定について

１ 策定の趣旨

本市の図書館サービスは、昭和５８年１０月の移動図書館「あおぞら号」の運行により開始されました。昭和６１年１１月には中央図書館、長浦公民館図書室、平川公民館図書室が、昭和６２年には根形公民館図書室が、そして平成元年に平岡公民館図書室が開館し、１図書館・４公民館図書室を拠点とする第１次図書館サービス網が完成しました。

平成９年には、長浦公民館図書室に代わり、本市第２の図書館である長浦おかのうえ図書館が開館し、その後、本市第１期教育ビジョンの施策体系「多様なライフスタイルに対応した生涯学習の推進」の実現を図るため、平成２２年度を目標年次とする第２次サービス網計画を策定し、平成１５年には平川公民館図書室を平川図書館として拡充・整備し、３図書館・２図書室を拠点とする現在のサービス網が完成しました。

その後、平成２３年度からは、第２期袖ヶ浦市教育ビジョンの施策「市民に親しまれる図書館活動の充実」を具現化するため、第３次図書館サービス網計画を策定し、前期５年、後期５年のサービス指標に基づき点検・評価も行いながら、様々な図書館サービスを推進してまいりました。

この度、第２期袖ヶ浦市教育ビジョン及び第３次図書館サービス網計画が令和２年度で最終年度を迎えることから、社会情勢や本市の状況が変化する中で、今後もより良い図書館サービスを実現させるため、第３期袖ヶ浦市教育ビジョンとの整合性を図りながら、第４次図書館サービス網計画を策定しようとするものです。

２ 計画の名称

袖ヶ浦市第４次図書館サービス網計画

３ 根拠法令等

「図書館法」

（設置及び運営上望ましい基準）

第七条の二 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」

（平成２４年１２月１９日文部科学省告示第１７２号）」

第二 公立図書館 一 市町村立図書館 １ 管理運営

（一）基本的運営方針及び事業計画

1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針を策定し、公表するよう努めるものとする。

4 第4次図書館サービス網計画の位置づけ

第3期教育ビジョンに基づき、中長期的な視野に立って、本市の図書館サービスを展望し、これを実現するための基本的な指針を示すものです。

5 計画期間

第3期教育ビジョンとの整合性を図るため、令和3年度を初年度とし、令和12年度を目標年次とする10年間の計画とします。

ただし、図書館を取り巻く環境の変化等に柔軟に対応するため、計画期間を前期と後期のそれぞれ5年に分け、前期計画終了後に5年間を通じて取り組んだ施策について再点検・評価し、その内容を後期計画に反映させます。

6 計画策定スケジュール（案）

別紙

袖ヶ浦市第4次図書館サービス網計画策定スケジュール（案）

予定年月	作業内容
2019年12月	課内 現在の課題を抽出する
2020年1月	↓
2020年2月	↓
2020年3月	R1年度図書館点検・評価作成
2020年4月	↓
2020年5月	第3次サービス網計画後期5年の成果と課題をまとめる
2020年6月	↓
2020年7月	図書館協議会①（第3次サービス網計画後期5年の成果と課題について） 袖ヶ浦市立図書館第4次サービス網計画策定要綱作成
2020年8月	策定検討委員会①、策定作業部会①（第4次計画策定についてスケジュール等説明） 図書館利用者アンケート実施
2020年9月	図書館ボランティア・社会教育推進員から意見徴集 図書館利用者アンケート結果をまとめる 課内で施策（基本方針・基本目標・サービス指針）・サービス指標の素案作成
2020年10月	↓ 策定作業部会②（施策・サービス指標について）
2020年11月	策定検討委員会②（施策・サービス指標について） 図書館協議会②（施策・サービス指標について）
2020年12月	施策・サービス指標修正
2021年1月	↓
2021年2月	図書館協議会③（第4次図書館サービス網計画の策定について）
2021年3月	部課長会議・教育委員会で報告
2021年4月	印刷・配布・HPで公開

報告（3）新型コロナウイルス感染拡大防止に係る休館及びサービスの一部制限等について

<経緯>

図書館は乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層が利用するため、館内フロア、カウンター前等で密になる可能性があり、また市外者の利用が2割程度あるため、3月20日に木更津市で感染者が出たことを受け3月25日より市内3図書館2公民館図書室を休館とした。

図書館における感染拡大の危険性が高いのは、閲覧室や閲覧席、視聴覚資料の視聴、インターネット利用などの長時間滞在利用、インターネット端末の周辺機器(マウスやキーボード)や館内利用者用検索端末のタッチパネル等の汚染、レファレンスカウンターや貸出カウンターでの長時間の問い合わせ対応があげられる。

休館中の予約資料の受け渡しについては、他自治体では実施しているケースがあったが、受け渡しだけでなくその場でさらに問い合わせや追加の依頼等が発生し、カウンター前に列を作る状況になると感染の機会が増大するため、実施しないこととした。

4月7日に千葉県を含む7都府県に緊急事態宣言が発令されたことに伴い、休館期間を延長した。5月25日に5都道県が解除されたため、5月28日、30日、31日の3日間に開館後の混雑緩和のため休館中の予約資料の受け渡しを行い、6月2日に感染拡大予防措置を講じて、一部のサービスを制限したうえで市内3図書館2公民館図書室を開館した。その後近隣市含め感染者の発生が2か月間なかったことから、7月1日から制限しているサービスを一部緩和することを検討したが、6月末に木更津市において感染者が発生したことから、当面の間は現状のまま状況を確認することとなった。

新たな試みとして利用者の滞在期間短縮のため、すぐに借りて帰りたい方のための対象年齢別の絵本セットを作成提供し、よく利用されている。

1. 令和2年3月4日から3月31日まで(当初予定) 開館中の措置

中止した事業	名画鑑賞会、子ども映画会、おはなし会、おはなしのじかん、わらべうたであそぼう、えほんのへや
停止したサービス	視聴覚資料の館内視聴、インターネット端末の利用 書見台・閲覧室の利用（中央図書館のみ）
拡大したサービス	貸出点数を上限15点から20点、貸出期間を2週間から3週間に拡大 すぐに借りて帰りたい人の「おすすめ絵本セット」コーナーを設置（中央図書館、長浦おかのうえ図書館）
その他の対応	館内の定期的な換気 館内利用者用開放端末の1時間おきの消毒 返却資料の消毒 カウンタースタッフ、レファレンスカウンター職員はマスク着用 閲覧テーブルの椅子を半分にして「長時間の滞在利用はご遠慮ください。」と掲示

2. 令和2年3月25日から4月15日まで(当初予定) 4月7日千葉県に緊急事態宣言発令

市内3図書館2図書室全面休館
返却は図書・雑誌のみブックポストへ返却可能
予約資料の取り置き・貸出しはしない
Web予約は可能
資料の返却、予約取り置き資料の取り置き期間については4月16日以降、5月1日までとする
主催事業の開催中止、市民ギャラリー含む施設貸出し中止

3. 令和2年4月7日から5月6日まで休館期間を延長

再度6月1日まで休館期間を延長 5月25日緊急事態宣言解除

「返却はブックポストへ」の案内を停止
ホームページ・電話等の問い合わせでは、今現在持っている資料は開館後に返却してもらうよう案内(ただし、ブックポストは閉鎖せず。)
5月までの主催事業(おはなし会、映画会、こどもの読書週間記念行事)中止
長浦おかのうえ図書館市民ギャラリーの受付を停止

4. 緊急事態宣言解除後の開館直後の混雑緩和策として予約資料の受け渡しを実施

緊急事態宣言が解除となり図書館が開館した直後には来館者が集中し、館内、特にカウンター前が混雑し、密の状態になると予想されるため、この緩和対策として、休館中に予約資料の貸出待ちとなっていた約500名の方への予約資料の受け渡しを先行して行うこととした。

①受け渡し期間

5月28日(木)、30日(土)、31日(日)の3日間

9時30分から19時まで(29日(金)は、館内整理日のため除く。)

②受け渡し場所

中央・長浦の2図書館において、図書館入り口に貸出端末を設置して実施する。

公民館に併設する平川図書館及び根形・平岡公民館図書室の予約者については、公民館が閉館中のため、受け取り場所を中央もしくは長浦を指定するよう依頼する。他館での受け取りができない場合の受け取りは開館・開室後となる。

③受け渡し及び周知方法

すべての予約者に対し電話連絡を行い、受け取りを希望する方に希望受け取り日時を確認し、分散して来館してもらった。9時30分から19時までの9時間30分の間に、各館1時間10名程度で割り振りを行った。

④実施結果

中央図書館 104人、515点

長浦おかのうえ図書館 125人、531点

平川図書館 26人、85点

合計 255人、1,131点

5.6月2日開館以降のサービスの一部停止及び制限

緊急事態宣言解除直後においては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館、根形・平岡公民館図書室のサービスを以下の通り一部停止、利用の制限を行った。

①サービスを一部停止または制限した期間

令和2年6月2日（火）～当初は7月30日（木）までを予定

②停止したサービス

【中央図書館のみ】 閲覧室及び社会人閲覧席の利用、昼ラウンジの利用
レファレンス・コーナーの利用

【中央・長浦・平川の3図書館】 新聞・雑誌の閲覧、住宅地図の閲覧及び複写

【全館】 視聴覚資料の館内視聴、インターネットの利用、一部座席の利用

③一部利用を制限したサービス

【全館】 調査研究の申し込み受付（質問用紙、メール、郵送、FAXにより受付）
10枚以上の複写については後日渡しとする。

④期間中の貸出点数及び貸出期間

来館頻度を少なくしてもらうため、貸出期間、貸出点数を以下の通りとした。

貸出点数 一人20点まで（図書・雑誌20冊、うち録音資料3点）

貸出期間 3週間

⑤その他

上記以外のサービスについては、従来どおり実施した。

読書普及事業については、この期間の実施を見送り、社会教育推進員やボランティアと開催方法を検討し、参加方法の変更について周知を図ることとした。

⑥6月2日（火）の利用状況

中央図書館 267人、1,567点

長浦おかのうえ図書館 356人、1,972点

平川図書館 62人、387点

根形公民館図書室 31人、162点

平岡公民館図書室 25人、113点 合計741人、4,201点

返却点数 2,829点、予約点数 420点

6.停止しているサービスの一部制限緩和について（今後の予定）

①サービス制限緩和の開始

令和2年7月（開始日は未定）

②再開するサービス及び感染予防対策

ア．中央図書館レファレンス・コーナーの利用

利用する際に手指消毒をお願いする。

イ．調査研究の申し込み受付

及び10枚以上の複写の当日渡し（30枚以上の場合は翌日以降渡し）

ウ．新聞の閲覧【中央・長浦・平川】

閲覧希望者に閲覧申込書（氏名と連絡先）を記入してもらい、職員が手指消毒等の確認をして閲覧を希望する新聞を渡す。

エ．住宅地図の閲覧・複写【中央・長浦・平川】

閲覧希望者に閲覧申込書（氏名と連絡先）を記入してもらい、閲覧希望者に職員が手指消毒等の確認をして、閲覧を希望する住宅地図を渡す。

オ．座席利用

・中央図書館閲覧室の利用

4人掛けテーブルに飛沫感染防止のためのパーテーションを設け、2人席とする。ほか1人用席が2席。**計18席**／34席。

番号札を配布、定時巡回し、2時間以内の利用の呼びかけをする。

定時に消毒を行う。

・中央図書館社会人閲覧席の利用

長テーブルについては1席ずつ利用停止とし、間隔をあけて利用してもらう。

計10席／15席。（パーテーション設置後は計14席。）

番号札を配布、定時巡回し、2時間以内の利用の呼びかけをする。

定時に消毒を行う。

・長浦おかのうえ図書館テーブル席の利用

4人掛けテーブル3台と6人掛けテーブル1台を、飛沫感染防止のためのパーテーションを設け2人席（6人掛けのテーブルは3人席）とする。

計9席／18席。

定時巡回し、2時間以内の利用の呼びかけをする。定時に消毒を行う。

・平川図書館、根形公民館図書室、平岡公民館図書室の座席利用

座席数を減らし、間隔をあけて利用してもらう。

平川図書館のテーブル席は**1人席**とする。

定時巡回し、2時間以内の利用の呼びかけをする。定時に消毒を行う。

カ．インターネット端末の利用（中央・長浦・平川・根形・平岡）

1日1人1時間、1回まで（延長、再利用不可）。

ヘッドフォンは貸出しない。持参をお願いする。

利用後に職員もしくはTRCスタッフが消毒を行う。

キ. 中央図書館2階和室、長浦おかのうえ図書館電算室の利用
人数制限、2時間までの利用制限、1時間ごとの換気を行う。

③引き続き停止するサービス

ア. 視聴覚資料の館内視聴

イ. 雑誌の新刊の閲覧（貸出は可能とする。）

ウ. 中央図書館昼ラウンジ及び一部座席の利用

④周知方法

広報そでがうら 7/15号、市役所HP、図書館HP、図書館ツイッター、館内掲示

⑤主催事業について

おはなし会、映画会等集客を伴う読書委普及事業は6月末まで中止とした。

夏のトショロ月間は、集客を伴う事業は実施せず、参加型展示事業、おすすめ図書等の事業を開催する。おはなし会、映画会等については9月以降に、密にならないよう参加人数を減らす、予約制とする、参加者にマスク着用をお願いするなどの措置を講じて開催することを検討している。

（参考）中止となった読書普及事業の回数

令和元年度 2月～3月 22回、出張おはなし会 13回（休館5日間）

令和2年度 4月～6月 62回、出張おはなし会 63回（休館52日間）

（c f : 令和元年度 読書普及事業190回 出張おはなし会349回）

取り組み例

すぐに借りて帰りたい人の「おすすめ絵本セット」コーナーを中央図書館、長浦おかのうえ図書館において設置した。



報告（４）令和２年度図書館利用者アンケートについて

- 1 目 的 袖ヶ浦市立図書館に対する利用者の来館者満足度や意見等を把握し、第４次図書館サービス網計画の策定など今後の図書館運営の基礎資料とする。
- 2 期 間 令和２年８月６日（木）～８月２３日（日）を予定
※休館日を除いた１７日間
- 3 場 所 中央図書館・長浦おかのうえ図書館・平川図書館・根形公民館図書室・平岡公民館図書室
- 4 対 象 期間中における図書館来館者（中学生以上）
※回答は、期間中１人当たり１回限りとする。
- 5 調査方法 カウンターでの貸出や資料閲覧受付時にアンケート用紙を手渡して、アンケートへの協力をお願いする。
- 6 調査内容 別紙のとおり

--	--	--

<図書館利用者アンケート>

袖ヶ浦市立図書館では、より一層の充実をはかるため、利用者の皆様に隔年でアンケート調査を行っています。
お名前を書いていただく必要はありません。特に指定のある設問以外は、当てはまる項目1つだけに○をしてください。
なお、アンケート期間を通じて、回答はお一人につき1回のみとさせていただきます。

問1 あなたのお住まいの地域はどこですか。

- ① 昭和地区 ② 長浦地区 ③ 根形地区 ④ 平岡地区
⑤ 中川地区 ⑥ 富岡地区 ⑦ 市原市 ⑧ 木更津市
⑨ 君津市 ⑩ 富津市 ⑪ その他 ()

問2 あなたの性別はどちらですか。

- ① 男 ② 女 ③ その他

問3 あなたの年齢は以下のどれにあたりますか。

- ① 10代 ② 20代 ③ 30代 ④ 40代
⑤ 50代 ⑥ 60代 ⑦ 70代 ⑧ 80代以上

問4 あなたの職業は以下のどれにあたりますか。

- ① 会社員・公務員 ② 自営業・自由業・農林水産業
③ 専業主婦(夫) ④ パート・派遣 ⑤ 学生
⑥ 無職・年金受給者 ⑦ その他 ()

問5 図書館の利用についておたずねします。

Q1 どのくらいの頻度で利用しますか。

- ① 週1回以上 ② 月1~2回 ③ 数か月に1回
④ 定期的な来館ではない ⑤ その他 ()

Q2 どの館をよく利用しますか(複数回答可)。

- ① 中央図書館 ② 長浦おかのうえ図書館
③ 平川図書館 ④ 根形公民館図書室
⑤ 平岡公民館図書室

Q3 一番利用する図書館への交通手段は何ですか。

(中央・長浦・平川・根形・平岡)

- ① 車 ② 自転車 ③ 徒歩 ④ 公共交通機関
⑤ その他()

Q4 よく利用する時間帯はいつですか。

- 平日 ① 午前 ② 午後 ③ 17時以降
休日 ① 午前 ② 午後 ③ 17時以降

Q5 来館目的について(複数回答可)

- ① 書棚から読みたい本を探して借りる
② 予約している資料を借りる
③ 館内で図書や新聞・雑誌などを読む
④ 館内でビデオ・DVDなどを視聴する
⑤ 調べごと、探している資料などの相談
⑥ 講座、映画会、おはなし会などの催しへの参加
⑦ インターネットの利用
⑧ その他 ()

問6 以下の図書館サービスの中で、あなたが利用(参加)したことがあるものをお答えください。(複数回答可)

資料の貸出に関すること

- ① OPAC(利用者用検索端末)・ホームページでの蔵書検索
② ホームページでのマイ本棚・貸出延長の利用(パスワードの登録後利用可能)
③ OPAC・ホームページからの資料予約(在住・在勤・在学者のみ)
④ 袖ヶ浦市所蔵資料の予約・取り寄せ
⑤ 未所蔵資料のリクエスト
⑥ 返却お知らせメールの利用

調査研究に関すること

- ① 調べごとの相談
② インターネット端末の利用
③ マイクロフィルムの閲覧(中央のみ)
④ データベースの閲覧(新聞記事検索・法情報等)
⑤ 国立国会図書館デジタル化資料の閲覧・歴史的音源の視聴(中央・長浦)
⑥ 不動産・求職情報の閲覧(中央・長浦・平川)

催しに関すること

- ① おはなしのじかん(おはなし会・えほんのへや・わらべうたであそぼうを含む)
② こどもの読書週間記念行事(スタンプラリー等)
③ すきすき絵本タイム(根形・平岡)
④ 夏のトショロ月間
⑤ 秋のトショロ月間
⑥ 名画鑑賞会・子ども映画会(中央・長浦・平川)

袖ヶ浦市立図書館からの情報発信

- ① 図書館ホームページの利用(イベント案内、資料検索等)
② 図書館メールマガジンの利用(毎月7日ころ新着資料等の情報を送信)
③ 図書館ツイッターの利用(随時各種お知らせを配信)



裏面へ→

問7 公民館図書室（根形・平岡）について

Q1 利用したことはありますか。

- ① はい ② いいえ →問8へ

Q2 どのくらいの頻度で利用しますか。

- ① 週1回以上 ② 月1~2回 ③ 数か月に1回
④ 定期的な来館ではない ⑤ その他)

Q3 図書室を利用する理由をお答えください

理由記入欄

問8 図書館・図書室を利用しての満足度について
満足度とご意見をお答えください。

※ 特定の館についての意見の場合○をつけてください。
(中央・長浦・平川・根形・平岡)

1 蔵書の内容について

- ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

ご意見記入欄

2 開館日数について

- ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

ご意見記入欄

3 開館時間について

- ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

ご意見記入欄

4 貸出冊数（一人15冊まで）について

- ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

ご意見記入欄

5 貸出期間（14日間）について

- ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

ご意見記入欄

6 書架の表示や案内図について

- ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

ご意見記入欄

7 施設・設備について

- ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

ご意見記入欄

8 館内のOPAC（利用者用の蔵書検索機）、インターネット端末について

- ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満
⑥ 使ったことがない

ご意見記入欄

9 図書館のホームページについて
(令和元年12月にリニューアル)

- ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

ご意見記入欄

10 図書館の催し（おはなし会、映画会、講座・講演会など）について

- ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満
⑥ 参加したことがない

ご意見記入欄

11 職員の対応について

- ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

ご意見記入欄

12 あなたにとって図書館全体の満足度について

- ① 満足 ② やや満足 ③ 普通 ④ やや不満 ⑤ 不満

ご意見記入欄

問9 袖ヶ浦市の図書館で充実させてほしいサービス・催しなどがあれば、ご記入ください。

ご意見記入欄



【袖ヶ浦市立図書館イメージキャラクター「トショロ」】

ご協力ありがとうございました。

別綴じ参考資料

議題（１）令和元年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について

○第３次袖ヶ浦市立図書館サービス網計画（後期：平成２８年度～令和２年度）

サービス評価指標の実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

○令和元年度災害等への対応・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

○令和元年度図書館事業の実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

○令和元年度図書館事業一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

○令和元年度図書館利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

○県内公立図書館サービス指標（平成30年度）・・・・・・・・ 13

○県内主要図書館の利用状況推移・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

○公共図書館統計（市区町村立図書館）・・・・・・・・・・ 14

議題（２）袖ヶ浦市第３次図書館サービス網計画（後期計画）の成果と課題について

○袖ヶ浦市地区別年齢別人口集計・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

○袖ヶ浦市立図書館地区別年齢別登録率推移・・・・・・・・ 16

第3次袖ヶ浦市立図書館サービス網計画【後期】サービス評価指標実績 太字:後期指標(細字:参考指標)

サービス内容	No.	サービス評価指標	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R01年度実績	R2年度目標値	達成率(実績/目標値)	評価
(1) 資料及び情報の収集、提供等	①	購入タイトル数/購入冊数(%)	85.0	83.0	85.5	85.2	85.8	90	95.3%	4
		・ 図書購入タイトル数(タイトル)	11,317	11,037	11,339	10,800	9,890	—	—	—
	②	蔵書冊数(所蔵図書冊数)	670,648	678,517	688,359	698,317	701,931	710,000	98.9%	4
		・ 蔵書数(点)(図書以外の資料を含む)	715,437	723,799	733,761	743,918	746,976	—	—	—
	③	市民一人当たりの蔵書冊数(冊)	10.8	10.9	10.9	11.0	10.9	11.1	98.2%	4
		・ 市民一人当たりの蔵書数(点)(図書以外の資料を含む)	11.5	11.6	11.6	11.7	11.6	—	—	—
	④	袖ヶ浦市関係資料の受入冊数(冊)	268	328	303	392	271	270	100.4%	5
	⑤	年間利用者数(人)	151,942	147,201	146,180	148,243	140,856	155,000	90.9%	4
	⑥	市民新規登録者数(人)	1,046	1,128	1,159	1,165	1,227	1,200	102.3%	5
	⑦	市民登録率(%)	45.1	44.4	43.3	42.5	41.5	60	69.2%	3
⑧	資料貸出数(点)ー市外含む総計	583,404	561,459	542,863	548,560	527,781	650,000	81.2%	4	
⑨	市民一人当たりの貸出数(点)	9.4	9.0	8.6	8.6	8.2	10.2	80.4%	4	
(2) 社会情勢の変化に対応したサービスの充実	⑩	一日あたりのホームページアクセス件数(件/日)	271	253.1	251.2	255.6	324.1	315	102.9%	5
	⑪	一ヶ月あたりのWeb予約件数(件/月)	2,140	2,352.3	2,530.7	2,756.4	2,851.8	2,250	126.7%	5
		・ メールマガジン登録者数(人)	64	93	134	167	181	—	—	—
		・ ホームページ閲覧総数(回/月)	253,569.0	341,644.8	409,220.7	595,455.9	505,560.8	—	—	—
	⑫	学校図書館への対応								
	-1	団体貸出総冊数(冊数/年)◆	6,015	3,885	3,034	3,270	3,416	3,000	113.9%	5
		・ 団体貸出(冊)	4,765	3,185	2,784	2,368	3,166	—	—	—
		・ 団体貸出(件数)	130	122	115	134	129	—	—	—
		・ 読み物・絵本セットの貸出(冊数)	1,250	700	250	902	250	—	—	—
	-2	出張おはなし会参加者数(人)◆	5,777	4,583	3,492	6,013	6,371	5,000	127.4%	5
⑬	レファレンス件数(件)	795	851	916	1,139	1,024	800	128.0%	5	

サービス内容	No.	サービス評価指標	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R01年度実績	R2年度目標値	達成率 (実績/目標値)	評価
(3) 利用者に応じたサービス	⑭	児童サービスの充実								
	-1	ブックスタートにおける本の配布率(%)*	—	92.8	84.6	82.7	82.1	100	82.1%	4
	・	ブックスタート(回/年)	26	7	12	18	13	—	—	—
	-2	おはなし会参加者数[館内・館外の合計](人)◆	12,033	10,580	8,917	12,516	12,759	12,000	106.3%	5
	・	わらべうた・えほんのへや	36	33	33	35	29	—	—	—
	・	おはなし会(館内)	103	92	99	108	102	—	—	—
	・	おはなし会(館外)	371	326	282	366	349	—	—	—
	・	子ども映画会(回)	23	24	23	22	19	—	—	—
	-3	お薦め本リストの発行(回/年)	4	4	4	4	4	4	100.0%	5
	⑮	青少年サービスの充実(YAお薦め本リストの発行)	1	1	1	1	1	1	100.0%	5
	-2	青少年サービスの充実(ジュニアお薦め本リストの発行)	1	1	1	1	1	1	100.0%	5
	⑯	高齢者サービスの充実								
	-1	大活字本の貸出冊数(冊/年)	4,077	4,419	4,254	4,123	3,863	5,000	77.3%	3
	・	大活字本 所蔵タイトル数(タイトル)	1,057	1,107	1,152	1,195	1,229	—	—	—
	・	名画鑑賞会(回)	52	53	44	46	37	—	—	—
	・	名画鑑賞会参加者数(人)	2,536	2,774	2,239	2,434	2,284	—	—	—
	・	朗読CD 所蔵タイトル数(タイトル)	567	596	631	659	683	—	—	—
	⑰	障がい者サービスの充実(宅配サービス 冊)	408	388	339	359	271	350	77.4%	3
	⑱	図書館ボランティアの育成(名)	36	59	71	74	71	70	101.4%	5
	・	おはなし会ボランティア	19	23	21	21	20	—	—	—
	・	朗読ボランティア	4	4	4	4	0	—	—	—
	・	ブックスタートボランティア*	13	22	29	28	26	—	—	—
	・	映画会ボランティア	—	9	12	13	10	—	—	—
	・	展示ボランティア	—	—	4	6	5	—	—	—
	・	その他のボランティア	—	1	1	2	10	—	—	—
	⑲	来館者満足度(%)	未実施	76.8	未実施	78.2	未実施	75		

* H25～27年度は「すきすき絵本タイム」として実施。平成27年度目標値及び実績は開催回数
◆【平成30年11月改定】学校図書館、学校ボランティア活動の充実を勘案し、目標値を変更した。

令和元年度 災害等への対応

台風被害への対応（9月：台風15号、10月：台風19号）

	臨時休館、開館時間の変更	事業の中止
中央	10/12, 10/13：臨時休館	なし
長浦	9/10～9/12, 10/12, 10/13：臨時休館 9/13：時間変更(13時から)	名画鑑賞会,子ども映画会,おはなし会,えほんのへや：各1回
平川	9/10, 9/11, 10/12～10/14：臨時休館 9/12：時間変更(13時から)	名画鑑賞会：1回
根形	9/10～9/16, 10/12～10/14：臨時休館	なし
平岡	9/10～9/13, 10/12～10/14：臨時休館	なし

※中央図書館は9月の台風15号による被害を受けなかったため、被災者の休憩場所としてロビーに椅子を出して充電用の電源を提供したほか、視聴覚ホールで子ども向けのビデオ上映を行った。

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応（2月以降）

	利用の制限、臨時休館	事業の中止（2/21以降の全事業）
中央	3/4～3/24：ビデオ視聴とインターネット端末の利用停止,閲覧席の使用制限（座席の減など）,閲覧室の封鎖（中央）	名画鑑賞会,子ども映画会,春休みおはなし会,ブックスタート：各1回 えほんのへや,おはなしのじかん：各2回
長浦		名画鑑賞会：4回,子ども映画会,おはなし会,えほんのへや,わらべうたであそぼう：各1回
平川		子ども映画会,おはなし会：各1回
根形		3/25～5/31：臨時休館 すきすき絵本タイム：1回
平岡		なし

※その他、3月に予定していたボランティア総会を中止

令和元年度開館日

	開館予定日数	開館日数実績
中央	297日	290日（10月△2日,3月△5日）
長浦	297日	287日（9月△3日,10月△2日,3月△5日）
平川	297日	287日（9月△2日,10月△3日,3月△5日）
根形	297日	282日（9月△7日,10月△3日,3月△5日）
平岡	297日	285日（9月△4日,10月△3日,3月△5日）

令和元年度図書館事業の実施報告

1 令和元年度図書館経営方針及び重点施策に基づく総括

① 事業の総括

図書館では、令和元年度経営方針に基づき、市民の多種多様、高度化する学習要求に応えるための条件整備を図り、「いつでも、どこでも、誰でも、どんな資料でも」利用できる、市民に親しまれる書館運営に努めるとともに、「市民の書齋として、思索の場として、そして市民のふれあいの場として」さらに充実した図書館づくりを目指し、5つの重点施策を推進しました。

② 重点施策に対する事業の成果

(1) 図書館資料の充実

- ・新刊図書の購入に加えて、郷土行政資料の寄贈を積極的に呼びかけたことにより、開架書架の図書318,870冊に対して12,446冊（うち購入11,540冊）を受入し、約3.9%更新しました。また、新聞、雑誌等の逐次刊行物、CD、DVD等の視聴覚資料及び調査研究用のマイクロフィルムやデータベースについて、継続的な収集と提供に努めました。また加入している視覚障がい者用のデータベースを活用し、図書館利用に障害のある人が利用しやすい資料を提供しました。
- ・地域の高齢化が進行する中で、市民の関心が高く、常に新しい情報が求められる社会福祉と医学関連の図書を重点的に収集しました。
- ・台風15号の被害以降、市民の関心が高まった災害関係の分野の図書を積極的に購入しました。
- ・袖ヶ浦市関連の新聞記事見出し一覧を毎月ホームページ上で公開し、地域情報を充実させました。
- ・教養や調査研究等に資する情報提供と図書館資料の活用を推進するため、おすすめ図書を成人向けに2種類、児童向けに4種類、パズファイナダー（調べ案内）を一般向けに1種類、児童向けに1種類作成し、館内でのリスト配布や図書館ホームページを通じて広く市民に紹介しました。
- ・中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館では、毎月テーマを決めた特設コーナーを設置し、おすすめ本の紹介を行いました。

(2) 乳幼児期からの読書活動の推進

- ・年間をとおして、所定の時間内で好きな時間に参加できる「おはなしのじかん」、子ども映画会等の子ども向けの催しとタイアップして行う

「おはなし会」ほか、学校や保育所等への出張おはなし会、公民館図書室のふれあい読書コーナーを活用した「すきすき絵本タイム」を実施しました。

- ・「おはなし会ボランティア養成講座中級編」を開催し、おはなし会ボランティアを養成しました。
- ・4か月児教室を会場に乳児と保護者が絵本を介して向かい合い、暖かい言葉のふれあいをもつことの大切さを伝えるため、ボランティアが読みきかせを行った後に絵本を配布する「ブックスタート事業」を開催しました。10月からはブックスタート会場で対象児の図書館利用券の発行を開始し、多くの新規登録を受け付けました。
- ・こどもの読書週間の前後には「こどもの読書週間記念行事」として全館でスタンプラリーを開催したほか、おすすめ図書の展示や関連リストの配布を実施しました。「夏のトショロ月間」では、社会教育推進員が企画した「マザーグースであそび」「はらぺこあおむしの手づくり工作」、おはなし会や子ども映画会、「自分でピッ！してみよう」など子どもが図書館に親しめる事業を多数開催しました。
- ・学校図書館等との連携事業として、「夏のトショロ月間」で開催した「なつやすみとしょかんであそぼう」の中で、袖ヶ浦高等学校の生徒がおはなし会ボランティアと一緒に絵本の読み聞かせを行いました。また、中央図書館児童室での「昭和中学校の図書委員会によるおすすめ図書の紹介と児童室の飾り付け」や、長浦おかのうえ図書館市民ギャラリーでの「蔵波中学校美術部生徒による作品展示」を行いました。
- ・「秋のトショロ月間」では、袖ヶ浦高等学校図書委員の中央図書館青少年コーナーでの「おすすめ本ディスプレイの展示」や、平川図書館では「平川中学校図書委員&1年生によるおすすめ本の展示」などを開催しました。

(3) 高齢化社会に対応した図書館サービスの充実

- ・大活字本や朗読CD等、高齢者が利用しやすい資料を積極的に収集しました。
- ・集会事業としては、定期的に視聴覚資料を活用した名画鑑賞会を開催したほか、「秋のトショロ月間」では、映画会ボランティアが企画した「ようこそ！秋はミステリーの世界へ」や社会教育推進員の企画でオペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」のDVD上映を行いました。
- ・9月には図書館3館共通で、認知症関連図書の特設コーナーを設置し

たほか、「秋のトショロ月間」では県の金融広報アドバイザーを講師に迎え、高齢者を対象とした「暮らしに役立つ生活講座 老後の生活設計のあり方」を長浦おかのうえ図書館で開催しました。また、高齢者支援課が開催する認知症予防教室「頭の元気トレーニング」では、年間を通じて長浦おかのうえ図書館が活用されました。

(4) 情報化社会に対応した電子図書館サービスの充実

- ・12月の図書館電算システム更新にあわせて、図書館ホームページをリニューアルし、フォトニュースのコーナーやティーンズページの追加、利用者が読んだ本や読みたい本を登録できる「MY本棚」など利用者の利便性につながる機能が向上しました。
- ・市民の調査研究を支援するため、ビジネス情報の充実した日本経済新聞記事検索データベース「日経テレコン21」、朝日新聞記事検索データベース「聞蔵Ⅱテキスト」、官報、法情報データベースD1-LOW、「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」、を提供し、また国立国会図書館デジタルコレクション歴史的音源の配信サービスの利用を行いました。
- ・メールマガジンを号外を含めて全体で14回配信したほか、図書館公式ツイッターでの情報発信を随時行い、図書館及び図書館資料についてきめ細かな情報提供を行いました。

(5) 図書館運営への市民参加の推進

- ・図書館のサービス状況について、図書館協議会の協力を得ながら点検・評価を行い、その結果をホームページ上に公開することにより、運営状況に関する情報を積極的に市民に提供しました。
- ・「夏のトショロ月間」、「秋のトショロ月間」では主催事業だけでなく、グループサークルによる発表会や作品展示、市内小中学校生徒のコンサートや作品展示も行いました。「秋のトショロ月間」には、中央図書館で、昭和小学校4年生が作成した、令和2年に開催予定の東京オリンピック、パラリンピックを紹介するリーフレット「ぼくらオリパラ情報局」を展示したほか、社会教育推進員企画として「トショロの庭Tea Time」を開催し、多数の親子連れの参加があり大変好評でした。
- ・文芸講座の講師との座談会、名画鑑賞会後の「シネマトーク」など、社会教育推進員や図書館ボランティアの協力を得て、講座終了後に市民同士が感想を話し合い交流しあう場を設けました。

令和元年度図書館事業一覧

No.	事業名 【事業費：千円】	実施時期・回数等	実績・参加人数等
1	図書館協議会関係費 【165】	委員10名 会議2回 視察1回 第1回「平成30年度図書館サービス状況点検・評価について」ほか（7月23日） 先進図書館視察研修 視察先 立川市中央図書館、日野市立日野図書館（10月30日） 第2回「令和2年度図書館経営方針及び重点施策について」ほか（2月25日）	9名 5名 9名
2	図書館運営事務費 【52,291】	開館日数 中央290日 長浦・平川287日 根形282日 平岡285日 ※電算更新に伴う臨時休館8日 台風被害による臨時休館 館ごとに異なる 新型コロナウイルス対応による臨時休館2日	個人貸出利用者数 140,856人 個人貸出点数 527,781点 市民1人当り貸出点数 (全資料) 8.2点
		団体貸出	延べ利用数 466団体 貸出冊数 6,037冊
3	図書館資料購入費 【28,695】	通年	市民1人当り所蔵資料点数 (全資料) 11.6点
	(1) 図書購入 (22,264)	中央 4,705冊 長浦 5,052冊 平川 1,244冊 根形 269冊 平岡 270冊 計 11,540冊 地区 0点	市民1人当り所蔵図書冊数 (図書のみ) 10.9冊
	(2) 視聴覚資料購入 (393)	CD 104点 DVD 10点 計 114点	
	(3) マイクロフィルム購入 (343)	朝日・毎日・読売新聞(千葉版) 千葉日報・新千葉新聞 計 23巻	
	(4) 新聞・雑誌購入 (2,842)	<新聞> <雑誌> 中央 12紙 88誌 長浦 10紙 56誌 平川 4紙 25誌 計 26紙 169誌	
	(5) その他 (2,853)	官報情報データベース 法律情報データベース 図書データ作成、図書装備ほか 所蔵図書データ抽出委託(臨時経費)	

No.	事業名 【事業費：千円】	実施時期・回数等	実績・参加人数等
4	電算処理事業 【14,483】	図書館電算システム一式賃借 ・電算業務用ソフト及び電算機器更新（12月） ・ホームページリニューアル（12月） メールマガジン配信（月1回・号外） ツイッター配信（随時） 新聞記事データベース（朝日・日経） 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス	年間ホームページアクセス件数 トップページ 118,605件 総ページ 6,066,730件 年間ウェブ予約件数 34,221件
5	読書普及事業 【1,136】		
	(1) 児童奉仕推進 事業 (50)	「こどもの読書週間」記念行事 (スタンプラリー、おすすめ図書リスト配布ほか 4月13日～5月12日) おはなし会・おはなしのじかん (92回) 夏休みおはなし会・ちょっぴりこわいおはなし 会・クリスマスおはなし会 (7回) えほんのへや (16回) わらべうたであそぼう (11回) すきすき絵本タイム (6回) なつやすみとしょかんであそぼう (8月1日) 秋のおはなし会 (11月23日) 出張おはなし会 (28ヶ所・349回) おはなし会ボランティア養成講座中級編 (12～2月・全6回) かみのおはなやさん、紙花教室 (18回) えほんのふくぶくろ (1月5日～1月21日)	スタンプラリー参加985人 記念品プレゼント396人 1,310人 496人 114人 209人 250人 158人 53人 10,453人 48人 501人 110袋
	(2) ブックスター ト (696)	個別の絵本読み聞かせ、乳幼児向け絵本等の配布 (保健センター4か月児教室開催時 13回)	413件
	(3) 著者を囲む会 (201)	「私と図書館」(1月25日) 作家 中島京子	102人
	(4) 文芸講座 (81)	「アガサ・クリスティーの世界を楽しむ」 (10月～11月・全4回 最終回終了後に座談会) クリスティー研究家 数藤康雄	150人
	(5) 資料展示 (7)	通年(6回)	

No.	事業名 【事業費：千円】	実施時期・回数等	実績・参加人数等
	(6) 視聴覚資料 活用事業 (19)	名画鑑賞会・その他上映会 38回（中央13回・長浦20回・平川5回） 上映後のシネマトーク4回 子ども映画会 19回（中央8回・長浦6回・平川5回）	名画鑑賞会・その他 2,412人 シネマトーク16人 子ども映画会 919人
	(7) 夏のトショロ 月間 (18)	「図書館で夏をすずしく楽しもう！」 (7月18日～8月18日) ・書庫探検、「じぶんでピッ！してみよう」、 「はらぺこあおむしの手づくり工作」、「マザー グースでてあそび」ほか	2,163人
	(8) 秋のトショロ 月間 (11)	「読書の秋！そうだ、図書館へ行こう！」 (10月19日～11月24日) ・中庭イベント「トショロの庭 Tea Time」、暮 らしに役立つ生活講座「老後の生活設計のあり 方」、本のおたのしみ袋ほか	1,676人
	(9) 障がい者サー ビス (41)	・宅配サービス 利用登録10名 ・デイジー図書の作成、宅配	宅配 56回・271点 うちデイジー図書63点
	(10) 本・雑誌 リユースデー (5)	学校、保育所、養護施設等への事前提供 2月12日・2月13日 市民への提供 2月16日	34団体 1,764冊 451人 約4,480冊 募金額 44,743円
	(11) 社会教育推進 員活用事業 (7)	社会教育推進員13名 会議 2回（5月17日・9月17日） 先進図書館視察 山武市立成東図書館、さんぶの 森図書館（6月27日）	

令和元年度図書館利用状況

(1) 貸出点数

開館日数 中央290日、長浦・平川 287日、根形282日・平岡285日

	中央	長浦	平川	根形	平岡	合計
一般書	131,761	144,735	23,524	10,912	6,274	317,206
児童書	76,576	64,356	13,389	5,229	3,454	163,004
雑誌	10,847	11,834	2,162	2,407	837	28,087
視聴覚	6,723	10,751	1,327	142	541	19,484
個人合計	225,907	231,676	40,402	18,690	11,106	527,781
団体貸出						6,037
貸出総数						533,818点

(2) 利用者数等

袖ヶ浦市人口(令和2年3月31日現在) 64,519人

中央	62,714人	市民1人当たりの貸出点数	8.2点
長浦	57,452人	登録者総数	37,396人
平川	10,685人	市民登録率 (登録者数 26,760人)	41.5%
根形	6,213人	予約・リクエスト処理点数	53,815点
平岡	3,792人	うち、未所蔵 5,694冊(購入 2,196冊・他館借用 3,498冊)	
		レファレンス処理件数	1,024件
		資料複写件数	993件 5,108枚
		ホームページアクセス件数	118,605件
		映画会参加者数(中央)	21回 1,079人
個人合計	140,856人	" (長浦)	26回 2,030人
		" (平川)	10回 222人
団体貸出	延べ 464団体	おはなし会参加者数(図書館)	131回 2,306人
		" (出張)	349回 10,453人
		障がい者への宅配による資料貸出	56回 271冊

(3) 図書分類別蔵書冊数

(令和2年3月31日現在)

	一般書	児童書	合計
総記	20,182	1,749	21,931
哲学	17,874	749	18,623
歴史	52,731	5,422	58,153
社会科学	89,031	5,078	94,109
自然科学	38,623	14,978	53,601
工学	56,647	5,168	61,815
産業	22,126	3,137	25,263
芸術	48,747	6,115	54,862
語学	9,089	996	10,085
文学	184,587	46,901	231,488
絵本	—	70,381	70,381
紙芝居	—	1,620	1,620
合計	539,637	162,294	701,931
合計	1,059,092	322,839	1,381,931

図書以外の資料

雑誌	22,818冊
カセットテープ	1,993点
レコード	291点
コンパクトディスク	10,154点
ビデオテープ	3,781点
レーザーディスク	1,299点
DVD	1,423点
マイクロフィルム	1,474巻
地図	1,812点
合計	45,045点

資料総合計 746,976点

(市民1人当たり 11.6点)

(4) 令和元年度ベストリーダー10

一般書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	昨日がなければ明日もない	宮部 みゆき	118	6
2	魔力の胎動	東野 圭吾	111	7
3	ノースライト	横山 秀夫	101	5
4	素敵な日本人	東野 圭吾	100	7
5	そして、バトンは渡された	瀬尾 まいこ	98	5
6	危険なビーナス	東野 圭吾	97	7
7	蜜蜂と遠雷	恩田 陸	95	6
8	すぐ死ぬんだから	内館 牧子	94	6
8	沈黙のパレード	東野 圭吾	94	5
10	むらさきのスカートの子	今村 夏子	93	7

児童書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま けん	279	25
2	わにわにのごちそう	小風 さち	220	20
3	がたんごとんがたんごとん	安西 水丸	214	31
4	くだもの	平山 和子	201	37
4	はらぺこあおむし	エリック=カール	201	16
6	おべんとう	小西 英子	186	16
7	サンドイッチサンドイッチ	小西 英子	184	19
8	バムとケロのにちようび	島田 ゆか	161	12
9	バーバパパのたんじょうび	アネット・チゾン	160	17
10	カレーライス	小西 英子	152	10

(5) 令和元年度予約ベスト10

一般書

順位	書名	著者	予約回数	複本数
1	希望の糸	東野 圭吾	127	5
2	そして、バトンは渡された	瀬尾 まいこ	111	5
3	落日	湊 かなえ	86	5
4	むらさきのスカートの子	今村 夏子	76	7
5	ライオンのおやつ	小川 糸	69	5
6	さよならの儀式	宮部 みゆき	66	5
6	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	プレディみかこ	66	3
8	熱源	川越 宗一	60	4
9	祝祭と予感	恩田 陸	56	4
9	罪の轍	奥田 英朗	56	3

児童書

順位	書名	著者	予約回数	複本数
1	ころべばいいのに	ヨシタケ シンスケ	21	1
2	こども六法	山崎 聡一郎	20	2
2	桃太郎は盗人なのか?	倉持 よつば	20	5
4	新・東京でんしゃ図鑑	イカロス出版	19	1
5	おしりたんてい プブっいさなしょちょうのだいピン	トルル	18	1
5	新私鉄特急・急行100点	広田 尚敬	18	1
5	のりもの2000	小賀野 実	18	5
8	おしりたんてい	トルル	17	1
9	おしりたんてい かいつVSたんてい	トルル	16	1
9	おしりたんてい プブっおしりたんていがふたりいる!?	トルル	18	5

(6) 令和元年度蔵書点検結果

令和2年3月31日現在

中央	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	R01～	H30～	H29～	H28～	H27～
①	313,370点	290点	113点	38点	33点	17点	89点
	不明比率	0.09%	0.04%	0.01%	0.01%	0.01%	0.03%

長浦	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	R01～	H30～	H29～	H28～	H27～
②	343,825点	162点	81点	43点	11点	12点	15点
	不明比率	0.05%	0.02%	0.01%	0.00%	0.00%	0.00%

平川	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	R01～	H30～	H29～	H28～	H27～
③	51,017点	154点	19点	47点	10点	46点	32点
	不明比率	0.30%	0.04%	0.09%	0.02%	0.09%	0.06%

根形	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	R01～	H30～	H29～	H28～	H27～
④	16,776点	7点	6点	1点	0	0	0
	不明比率	0.04%	0.04%	0.01%	0.00%	0.00%	0.00%

平岡	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	R01～	H30～	H29～	H28～	H27～
⑤	16,173点	12点	2点	0	1点	0	9点
	不明比率	0.07%	0.01%	0.00%	0.01%	0.00%	0.06%

学校用	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	R01～	H30～	H29～	H28～	H27～
⑥	5,815点	32点	0	0	0	31点	1点
	不明比率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.53%	0.02%

合計	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	R01～	H30～	H29～	H28～	H27～
①～⑥計	746,976点	657点	221点	129点	55点	106点	146点
	不明比率	0.09%	0.03%	0.02%	0.01%	0.01%	0.02%

※蔵書点数(在架資料点数)は、除籍予定の資料を含まないで算出。

※点検不明年度から5年を経過した資料は、6年目に除籍。(令和元年度実績162点)

(7) 令和元年度長期延滞資料督促実績 (H31.1.1～R01.10.31)

年間実績	累計			
a 督促電話人数	771人			
b 電話による返却人数	568人		電話による返却率 b/a	73.7%
c 督促ハガキ送付人数	203人		ハガキによる返却率 (c-d)/c	#REF!

※新型コロナウイルス拡散防止休館により3月、年度末のはがきによる督促は行っていない。

県内公立図書館サービス指標（平成30年度）

匝 瑳	72.6	横 芝 光	17.25	成 田	595	横 芝 光	395.3		
木 更 津	59.9	袖 ヶ 浦	11.13	横 芝 光	572	成 田	360.1		
山 武	54.3	白 井	8.93	匝 瑳	432	匝 瑳	260.6		
佐 倉 *	53.9	匝 瑳	8.32	袖 ヶ 浦	377	浦 安	226.4		
市 原	51.7	横 芝 光	12.71	浦 安	355	袖 ヶ 浦	221.5		
横 芝 光 *	45.0	横 浦 安	10.17	白 井	280	山 武	206.4		
大 多 喜	44.3	成 田	9.22	成 田	280	白 井	176.3		
袖 ヶ 浦 *	43.2	成 浦 安	6.27	白 井	272	野 田	162.3		
八 千 代	42.6	印 西	8.76	山 武	229	君 津	153.9		
八 香 代 取	42.2	袖 ヶ 浦	8.76	酒 々 井	219	君 津	149.5		
四 街 津	38.6	君 津	8.62	酒 々 井	213	酒 々 井	145.3		
君 我 孫	37.8	佐 倉	7.67	君 津	198	佐 志	144.9		
我 銚 子	37.7	我 孫	7.50	多 野	197	印 西	143.9		
八 多 喜	34.1	匝 瑳	7.42	野 田	196	印 船	139.2		
成 習 志	34.0	野 田	6.41	鴨 川	187	多 喜	138.7		
習 志	33.7	流 習 志	5.99	四 街 道	181	大 多 喜	125.7		
鴨 旭	32.3	流 習 志	5.87	習 志	169	大 孫 子	117.5		
白 井	32.2	八 千 代	5.87	船 橋	165	我 孫 子	116.7		
	31.8	山 武	5.25	南 房	164	四 街 道	114.9		
		市 川	5.08	館 孫	158	八 街			
項目	個人貸出率	人口1人あたり			人口				
	登録	個人貸出冊数	蔵書冊数	図書費(30年度)	1,000人あたり年間				
市町村平均	31.3%	5.06冊	3.15冊	154円	107.3冊				
市町村合計	1,885,067人	30,462,175冊	18,961,122冊	925,061千円	645,682冊				
船 橋	31.1	市 原	4.99	鴨 川	3.08	我 孫 子	153	鴨 川	100.0
勝 浦	30.8	酒 々 井	4.63	八 千 代	2.82	市 川	141	南 房	94.9
酒 々 井 *	30.3	酒 々 井	4.59	四 街 道	2.81	東 山	133	館 山	94.1
松 戸 *	29.9	東 山	4.45	鎌 ヶ 谷	2.78	流 山	131	茂 原	89.6
南 房 *	29.5	東 船 橋	4.25	木 更 津	2.67	松 戸	129	木 更 津	89.1
富 里	29.3	富 里	4.15	茂 原	2.66	鎌 ヶ 谷	128	東 庄	88.6
野 田 *	28.7	八 千 代	3.94	東 山	2.61	八 千 代	121	市 川	87.5
印 西 *	28.7	千 代	3.69	流 山	2.57	富 里	120	富 里	83.6
鎌 ヶ 谷	26.8	四 街 道	3.66	船 橋	2.55	館 山	119	東 市	82.4
東 庄	26.3	多 喜	3.52	船 橋	2.49	銚 子	117	東 市	81.6
流 山	26.1	鴨 川	3.39	勝 浦	2.32	銚 子	117	香 取	81.3
千 葉	25.1	鎌 ヶ 谷	3.29	千 葉	2.30	市 原	114	八 千 代	81.2
東 金	25.0	木 更 津	2.99	市 川	2.28	東 庄	111	鎌 ヶ 谷	80.8
浦 安 *	24.6	多 古	2.95	多 古	2.26	旭	107	市 原	77.8
市 川	21.3	香 取	2.90	習 志	2.16	勝 浦	107	銚 子	77.8
茂 原	19.2	館 山	2.88	柏	2.14	木 更 津	96	流 山	76.9
柏 山 *	18.1	南 房	2.84	香 取	2.06	茂 原	91	流 山	76.2
	16.2	南 房	2.54	香 取	1.88	香 取	89	勝 松	72.5
		南 房	2.05	旭	1.67	大 多 喜	76	旭	63.1
		勝 浦	1.66	松 戸	1.20	千 葉	57	千 葉	45.8
		旭 庄	1.47						
		東 庄	1.10						

- (注) 1 複数館ある市町村は、一つにまとめた
 2 人口の数値は、千葉県毎月常住人口調査月報より(平成31年4月1日現在)
 3 市町村平均・市町村合計欄の数値は、39市町村の平均・合計である
 4 図書費には臨時的経費のうち図書費を含む
 5 個人貸出登録率は累計で自治体内数か自治体外数を含めるかは自治体による (*印は、自治体内数)
 6 個人貸出冊数には、近隣自治体住民に対する貸出冊数が含まれる自治体がある

県内主要図書館の利用状況推移

「千葉県の図書館2019」(千葉県公共図書館協会発行)より

	個人貸出冊数			登録者数			人口(「千葉県毎月常住人口調査月報」による)			登録者数は自治体内のみ		
	H28年度	H29年度	H30年度	H28年度		H29年度		H30年度				
	登録者数	登録率%	登録者数	登録率%	登録者数	登録率%	登録者数	登録率%	H29.4.1		H30.4.1	H31.4.1
袖ヶ浦	561,459	542,863	548,560	45.2	27,385	44.1	27,061	43.2	61,300	62,161	62,614	○
市原	1,454,744	1,430,156	1,352,982	48.9	136,933	50.4	140,181	51.7	273,213	271,665	270,944	市外含む
木更津	413,101	408,335	404,831	57.8	79,603	58.9	81,155	59.9	134,803	135,162	135,372	市外含む
君津	764,977	733,622	713,663	43.1	32,001	38.3	31,286	37.8	84,570	83,633	82,774	市外含む
茂原	289,321	278,956	249,193	18.2	17,084	19.3	16,821	19.2	88,948	88,324	87,655	市外含む
千葉	3,695,380	3,791,419	3,659,541	26.1	249,853	25.6	245,275	25.1	973,856	975,669	978,158	○
浦安	1,992,908	1,926,558	1,733,663	27.1	44,516	26.3	41,939	24.6	167,694	169,083	170,485	○
市川	2,663,609	2,596,814	2,512,792	23.8	109,805	22.4	105,128	21.3	487,991	491,214	494,161	市外含む
成田	1,280,895	1,248,284	1,219,937	31.0	45,288	34.2	44,619	33.7	131,770	131,770	132,244	○
白井	492,094	468,164	461,117	33.9	20,133	32.3	19,555	31.5	62,006	62,374	62,157	市外含む
佐倉	1,380,751	1,323,298	1,311,617	65.7	115,182	67.1	92,301	53.9	172,145	171,686	171,103	○

※貸出冊数は視聴覚資料等を含む。※登録者数は累計の数値。袖ヶ浦市では毎年10年間未利用の登録者を年度末に除籍している。

公共図書館統計 (市区町村立図書館)

「図書館年鑑2019」(日本図書館協会発行)より

年度	図書館総数	専任職員数(人)	年間収集冊数(万冊)	個人貸出数(万点)	資料費決算額(億円)
2018	3,219	8,482	1,505	66,852	258.15
2017	3,215	8,691	1,532	67,421	256.62
2016	3,203	8,869	1,542	68,563	257.84
2015	3,182	8,955	1,515	67,260	254.05
2014	3,166	9,345	1,620	67,677	257.20
2013	3,168	9,583	1,641	69,267	256.81
2012	3,154	9,999	1,744	69,628	261.68
2011	3,129	10,072	1,666	69,705	265.38
2010	3,107	10,413	1,683	69,218	278.13
2009	3,082	10,959	1,739	67,246	275.38

順位	自治体名		個人貸出数(千点)
	自治体名	個人貸出数(千点)	
1	笠間市(茨城県)	1,227	1,227
2	守谷市(茨城県)	986	986
3	三木市(兵庫県)	941	941
4	京田部市(京都府)	882	882
5	鶴ヶ島市(埼玉県)	769	769
6	多賀城市(宮城県)	763	763
7	田原市(愛知県)	750	750
8	福津市(福岡県)	700	700
9	白河市(福島県)	674	674
10	塩尻市(長野県)	668	668
18	袖ヶ浦市(千葉県)	543	543
平均	110市区	395	395

は、過去の10年間の最大値

*貸出点数は、視聴覚資料を含む
*資料費は、経常的経費

袖ヶ浦市
蔵書冊数
:1位
資料費
決算額
:8位
予約受付
件数
:20位

袖ヶ浦市地区別年齢別人口集計（平成27年度～令和元年度）

①昭和地区	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	1,311	1,017	485	496	655	1,505	2,562	2,579	1,792	4,452	16,854
H28年度	1,403	1,008	483	513	668	1,560	2,573	2,696	1,867	4,503	17,274
H29年度	1,548	1,049	501	522	684	1,677	2,812	2,861	1,895	4,595	18,144
H30年度	1,715	1,117	484	499	723	1,838	2,956	2,956	2,011	4,691	18,990
R01年度	1,835	1,195	499	510	782	1,998	3,158	3,054	2,087	4,784	19,902
②長浦地区	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	1,715	1,629	900	827	1,044	2,379	3,761	4,218	2,947	7,871	27,291
H28年度	1,657	1,616	853	841	1,049	2,321	3,667	4,325	2,943	8,007	27,279
H29年度	1,701	1,610	840	865	1,027	2,308	3,576	4,467	2,923	8,168	27,485
H30年度	1,727	1,598	795	881	1,011	2,198	3,514	4,499	2,988	8,204	27,415
R01年度	1,693	1,576	811	843	1,043	2,202	3,458	4,495	3,139	8,324	27,584
③根形地区	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	283	288	152	153	233	440	684	814	894	2,089	6,030
H28年度	295	295	143	159	205	423	669	841	856	2,136	6,022
H29年度	272	290	149	144	201	393	643	846	810	2,195	5,943
H30年度	245	283	135	153	179	378	635	824	824	2,236	5,892
R01年度	228	280	154	137	185	331	606	814	841	2,258	5,834
④平岡地区	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	205	235	158	165	226	423	565	761	868	2,603	6,209
H28年度	210	223	153	151	224	399	569	755	821	2,644	6,149
H29年度	204	225	140	162	212	391	552	751	807	2,650	6,094
H30年度	193	211	134	150	215	353	532	741	785	2,631	5,945
R01年度	191	188	125	144	189	368	509	713	745	2,634	5,806
⑤中川地区	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	189	210	125	124	159	290	438	505	551	1,562	4,153
H28年度	183	211	115	121	154	261	437	500	515	1,585	4,082
H29年度	176	212	106	111	149	269	421	529	486	1,600	4,059
H30年度	172	206	98	112	135	246	398	535	488	1,583	3,973
R01年度	189	184	108	102	141	233	393	546	473	1,565	3,934
⑥富岡地区	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	65	59	42	55	50	107	169	194	226	643	1,610
H28年度	63	58	38	48	57	95	164	188	208	665	1,584
H29年度	45	59	34	44	65	88	140	188	197	666	1,526
H30年度	36	55	30	41	73	84	122	196	184	668	1,489
R01年度	34	54	30	37	61	86	127	187	180	663	1,459
全市合計	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	3,768	3,438	1,862	1,820	2,367	5,144	8,179	9,071	7,278	19,220	62,147
H28年度	3,811	3,411	1,785	1,833	2,357	5,059	8,079	9,305	7,210	19,540	62,390
H29年度	3,946	3,445	1,770	1,848	2,338	5,126	8,144	9,642	7,118	19,874	63,251
H30年度	4,088	3,470	1,676	1,836	2,336	5,097	8,157	9,751	7,280	20,013	63,704
R01年度	4,170	3,477	1,727	1,773	2,401	5,218	8,251	9,809	7,465	20,228	64,519

袖ヶ浦市立図書館 地区別年齢別登録率（登録者数÷人口）推移（平成27年度～令和元年度）

①昭和地区	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	19.0%	89.1%	94.6%	80.4%	72.1%	48.2%	50.0%	45.2%	38.1%	31.6%	46.0%
H28年度	19.0%	89.8%	93.8%	86.4%	64.7%	45.8%	48.3%	44.0%	36.6%	31.6%	44.9%
H29年度	19.8%	88.1%	89.0%	91.8%	59.8%	41.5%	44.3%	43.3%	34.6%	31.8%	43.3%
H30年度	19.9%	86.5%	95.2%	86.8%	59.3%	36.5%	43.0%	42.1%	32.7%	32.0%	42.0%
R01年度	22.6%	83.2%	89.8%	82.5%	60.2%	31.8%	40.8%	41.0%	32.5%	31.5%	40.7%
②長浦地区	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	18.1%	77.0%	81.6%	73.9%	72.3%	53.7%	57.8%	46.8%	40.3%	36.6%	48.2%
H28年度	19.3%	75.7%	86.4%	74.6%	69.7%	52.1%	55.5%	47.1%	38.5%	36.5%	47.6%
H29年度	18.9%	70.1%	93.7%	74.1%	68.7%	49.2%	53.1%	46.1%	37.6%	36.6%	46.5%
H30年度	21.3%	70.2%	91.4%	77.4%	66.1%	47.4%	51.4%	45.2%	35.7%	37.1%	45.8%
R01年度	24.5%	66.5%	90.3%	79.2%	65.2%	43.2%	49.0%	45.0%	33.7%	36.9%	44.7%
③根形地区	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	18.0%	64.9%	69.7%	64.7%	68.7%	70.2%	48.2%	42.8%	39.9%	27.7%	41.9%
H28年度	22.0%	65.1%	73.4%	62.9%	70.2%	66.0%	49.3%	39.1%	40.2%	27.7%	41.2%
H29年度	24.3%	66.6%	67.1%	72.2%	67.7%	65.4%	46.5%	38.8%	38.8%	28.7%	40.8%
H30年度	20.4%	71.7%	71.1%	67.3%	68.2%	61.9%	46.8%	35.6%	36.9%	29.3%	40.0%
R01年度	24.6%	72.9%	61.7%	70.1%	60.5%	66.8%	49.5%	34.5%	34.0%	29.3%	39.6%
④平岡地区	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	15.1%	86.8%	115.2%	92.1%	80.1%	57.7%	50.3%	39.0%	32.6%	22.8%	39.5%
H28年度	13.3%	87.0%	107.8%	91.4%	78.1%	59.4%	46.0%	38.0%	32.2%	22.8%	38.3%
H29年度	18.1%	74.7%	109.3%	96.3%	80.7%	50.6%	43.7%	37.8%	30.1%	22.6%	36.9%
H30年度	19.7%	70.1%	100.7%	111.3%	78.1%	53.0%	44.7%	36.6%	28.9%	22.5%	36.5%
R01年度	25.7%	72.9%	98.4%	103.5%	86.8%	44.0%	43.0%	36.5%	28.2%	22.7%	35.7%
⑤中川地区	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	21.2%	76.2%	82.4%	84.7%	77.4%	51.7%	48.4%	45.0%	33.2%	20.6%	39.1%
H28年度	20.2%	81.0%	85.2%	81.8%	81.2%	54.0%	45.1%	45.4%	33.6%	20.8%	39.1%
H29年度	19.3%	80.2%	86.8%	91.9%	79.2%	49.8%	45.8%	42.3%	33.5%	21.3%	38.7%
H30年度	20.9%	81.1%	81.6%	86.6%	88.9%	52.4%	43.7%	40.9%	33.0%	21.1%	38.2%
R01年度	21.2%	83.7%	81.5%	85.3%	78.7%	52.8%	38.4%	39.2%	31.5%	21.9%	37.1%
⑥富岡地区	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	26.2%	72.9%	92.9%	85.5%	82.0%	56.1%	42.0%	36.1%	32.7%	13.8%	34.2%
H28年度	27.0%	70.7%	102.6%	85.4%	66.7%	54.7%	45.7%	34.0%	33.2%	14.6%	33.6%
H29年度	26.7%	74.6%	97.1%	90.9%	70.8%	50.0%	44.3%	35.1%	29.9%	15.6%	33.4%
H30年度	27.8%	81.8%	86.7%	92.7%	79.5%	42.9%	41.0%	31.6%	28.3%	16.2%	32.6%
R01年度	35.3%	72.2%	86.7%	105.4%	77.0%	45.3%	37.8%	33.7%	22.2%	16.7%	31.8%
全市平均	0~6歳	7~12歳	13~15歳	16~18歳	19~22歳	23~30歳	31~40歳	41~50歳	51~60歳	61歳以上	合計
H27年度	18.6%	80.1%	87.2%	77.6%	73.2%	53.8%	53.2%	45.0%	38.0%	30.5%	45.1%
H28年度	19.3%	79.9%	89.5%	79.0%	69.8%	52.0%	51.3%	44.4%	37.0%	30.5%	44.4%
H29年度	19.7%	76.3%	91.0%	82.4%	67.8%	48.1%	48.4%	43.6%	35.6%	30.8%	43.3%
H30年度	20.6%	76.4%	91.0%	82.8%	67.0%	45.1%	47.0%	42.3%	33.9%	31.1%	42.5%
R01年度	23.7%	74.1%	87.6%	82.3%	66.0%	40.9%	44.9%	41.7%	32.4%	31.1%	41.5%